

個別事項「プロセス指標」

別紙 4

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項

[令和 8 年 1 月 20 日付け青が生第 2 0 0 7 号通知]

自治体名

下北圏域

胃がん検診（胃部X線）

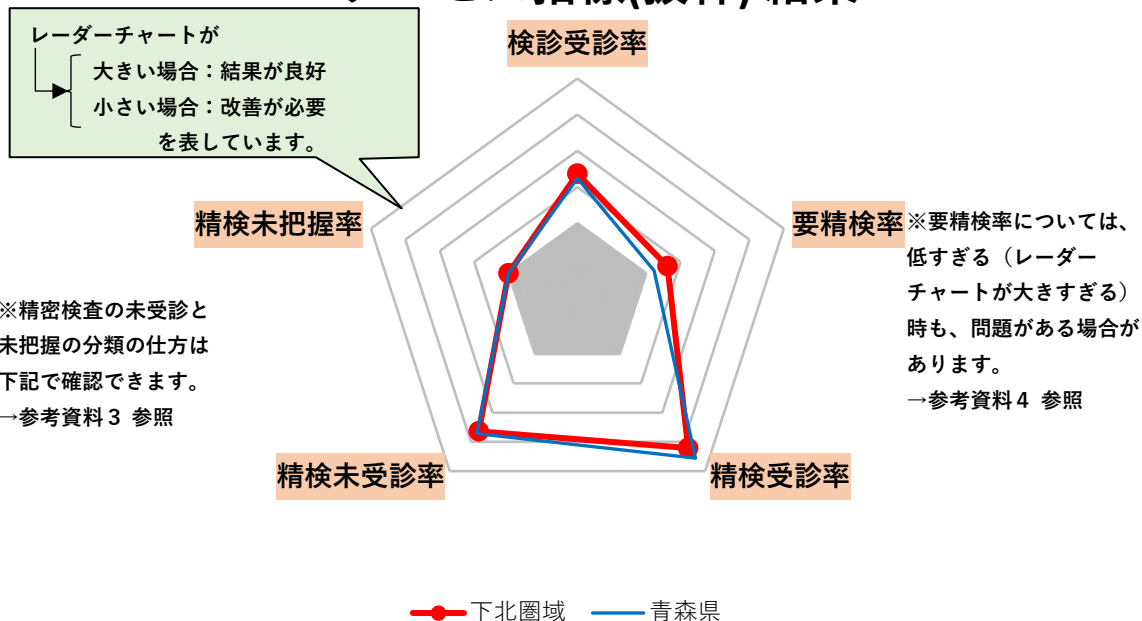
プロセス指標	基準値等	下北圏域	西北五圏域	青森県	全国	対象年度	対象年齢
検診受診率	30% 以上※1	10.2%	15.2%	9.3%	3.0%	令和 5 年度	50～74歳 男女計
要精検率	7.6% 以下	6.4%	8.4%	7.2%	5.7%	令和 4 年度	50～74歳 男女計
精検受診率	90% 以上	72.3%	83.0%	80.0%	80.9%	令和 4 年度	50～74歳 男女計
精検未受診率	20% 以下※2	6.8%	2.1%	6.4%	8.0%	令和 4 年度	50～74歳 男女計
精検未把握率	10% 以下※2	20.9%	14.9%	13.6%	11.1%	令和 4 年度	50～74歳 男女計
陽性反応適中度	1.5% 以上	0.8%	0.7%	1.2%	1.7%	令和 2～令和 4 年度	50～74歳 男女計
がん発見率	0.11% 以上	0.06%	0.06%	0.09%	0.10%	令和 2～令和 4 年度	50～74歳 男女計

※1 プロセス指標で求められている目標値 (60%以上) と算定方法が異なるため、便宜上30%を最大値としてグラフを作成する。

※2 旧プロセス指標値。令和6年1月改正のプロセス指標では、「精検未受診率と精検未把握率の合計が10%未満」となっている。

※3 胃管内視鏡検査も実施している場合、検診受診率が見かけ上、低くなっている可能性がある。

プロセス指標(抜粋) 結果



【県コメント】

＜精検受診率＞
基準値以上となるよう、精検受診勧奨が適切に実施できているか、精検受診者の利便性が確保できているか等検討してください。併せて、精検未把握率が高くなっていないか確認してください。精検受診率が低いと陽性反応適中度とがん発見率は正確に評価できません。

＜精検未受診率＞
基準値以下となっていますが、精検未把握率が高い場合、見かけ上未受診率が低くなることに注意してください。

＜精検未把握率＞
基準値以下となるよう、「精検受診の有無及び精検結果」を確実に把握できる体制ができているか検討してください。

個別事項「プロセス指標」

別紙 5

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項

[令和8年1月20日付け青が生第2007号通知]

自治体名

下北圏域

胃がん検診（胃部内視鏡）

プロセス指標	基準値等	下北圏域	上十三圏域	青森県	全国	対象年度	対象年齢
検診受診率	30% 以上※1	0.0%	—	0.8%	1.4%	令和5年度	50～74歳 男女計
要精検率	7.7% 以下	14.3%	16.1%	5.5%	6.4%	令和4年度	50～74歳 男女計
精検受診率	90% 以上	0.0%	69.8%	59.8%	93.5%	令和4年度	50～74歳 男女計
精検未受診率	20% 以下※2	0.0%	30.2%	5.9%	1.5%	令和4年度	50～74歳 男女計
精検未把握率	10% 以下※2	100.0%	0.0%	34.3%	5.0%	令和4年度	50～74歳 男女計
陽性反応適中度	2.5% 以上	0.0%	5.7%	5.2%	4.0%	令和2～令和4年度	50～74歳 男女計
がん発見率	0.19% 以上	0.00%	0.91%	0.27%	0.26%	令和2～令和4年度	50～74歳 男女計

※1 プロセス指標で求められている目標値(50%以上)と算定方法が異なるため、便宜上30%を最大値としてグラフを作成する。

※2 旧プロセス指標値。令和6年1月改正のプロセス指標では、「精検未受診率と精検未把握率の合計が10%未満」となっている。

※3 2年連続受診者の算定が困難であるため、その者がいた場合、検診受診率に含まれている。

【県コメント】

<検診受診率>

県平均以下となっています。対象者を全員把握できているか、対象者へのコール・リコールが実施できているか、受診者の利便性（休日夜間の検診、バス送迎等）が確保できているか等検討してください。

<要精検率>

基準値以下となるよう、有症状者が検診を受けていないか検討するとともに、有病率の高い年齢層・初回受診者に偏っていないか、各検診機関の判定基準が適切か確認する必要があります。

<精検受診率>

基準値以上となるよう、精検受診勧奨が適切に実施できているか、精検受診者の利便性が確保できているか等検討してください。併せて、精検未把握率が高くなっていないか確認してください。精検受診率が低いと陽性反応適中度とがん発見率は正確に評価できません。

<精検未受診率>

許容値以下となっていますが、精検未把握率が高い場合、見かけ上未受診率が低くなることに注意してください。

<精検未把握率>

基準値以下となるよう、「精検受診の有無及び精検結果」を確実に把握できる体制ができているか検討してください。

プロセス指標(抜粋) 結果

レーダーチャートが

大きい場合：結果が良好
小さい場合：改善が必要
を表しています。

精検未把握率

※精密検査の未受診と未把握の分類の仕方は下記で確認できます。
→参考資料3 参照

検診受診率

要精検率

※要精検率については、低すぎる（レーダーチャートが大きすぎる）時も、問題がある場合があります。
→参考資料4 参照

精検未受診率

精検受診率

● 下北圏域 — 青森県

※□内のパーセンテージは「基準値」です。

個別事項「プロセス指標」

別紙 6

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項

[令和8年1月20日付け青が生第2007号通知]

自治体名

下北圏域

大腸がん検診

プロセス指標	基準値等	下北圏域	青森圏域	青森県	全国	対象年度	対象年齢
検診受診率	30% 以上※ ¹	13.6%	10.6%	14.1%	8.6%	令和5年度	40～74歳 男女計
要精検率	6.8% 以下	5.3%	5.2%	5.6%	5.6%	令和4年度	40～74歳 男女計
精検受診率	90% 以上	59.7%	66.4%	72.8%	71.5%	令和4年度	40～74歳 男女計
精検未受診率	20% 以下※ ²	6.3%	4.0%	9.4%	12.7%	令和4年度	40～74歳 男女計
精検未把握率	10% 以下※ ²	34.0%	29.6%	17.8%	15.8%	令和4年度	40～74歳 男女計
陽性反応適中度	3.0% 以上	3.3%	4.6%	3.3%	3.2%	令和2～令和4年度	40～74歳 男女計
がん発見率	0.21% 以上	0.18%	0.24%	0.19%	0.19%	令和2～令和4年度	40～74歳 男女計

※1 プロセス指標で求められている目標値(50%以上)と算定方法が異なるため、便宜上30%を最大値としてグラフを作成する。

※2 旧プロセス指標値。令和6年1月改正のプロセス指標では、「精検未受診率と精検未把握率の合計が10%未満」となっている。

プロセス指標(抜粋) 結果

レーダーチャートが

大きい場合：結果が良好

小さい場合：改善が必要

を表しています。

※精密検査の未受診と未把握の分類の仕方は下記で確認できます。

→参考資料3 参照

精検未把握率

検診受診率

要精検率

※要精検率については、低すぎる（レーダーチャートが大きすぎる）時も、問題がある場合があります。

→参考資料4 参照

精検未受診率

精検受診率

● 下北圏域

● 青森県

※□内のパーセンテージは「基準値」です。

【県コメント】

＜検診受診率＞

県平均以下となっています。対象者を全員把握できているか、対象者へのコール・リコールが実施できているか、受診者の利便性（休日夜間の検診、バス送迎等）が確保できているか等検討してください。

＜精検受診率＞

基準値以上となるよう、精検受診勧奨が適切に実施できているか、精検受診者の利便性が確保できているか等検討してください。併せて、精検未把握率が高くなっていないか確認してください。精検受診率が低いと陽性反応適中度とがん発見率は正確に評価できません。

＜精検未受診率＞

基準値以下となっていますが、精検未把握率が高い場合、見かけ上未受診率が低くなることに注意してください。

＜精検未把握率＞

基準値以下となるよう、「精検受診の有無及び精検結果」を確実に把握できる体制ができているか検討してください。

個別事項「プロセス指標」

別紙 7

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項

[令和8年1月20日付け青が生第2007号通知]

自治体名

下北圏域

肺がん検診

プロセス指標	基準値等	下北圏域	青森圏域	青森県	全国	対象年度	対象年齢
検診受診率	30% 以上 ^{※1}	10.8%	5.7%	10.8%	7.7%	令和5年度	40～74歳 男女計
要精検率	2.4% 以下	0.8%	0.7%	1.2%	1.8%	令和4年度	40～74歳 男女計
精検受診率	90% 以上	93.8%	90.0%	88.6%	83.0%	令和4年度	40～74歳 男女計
精検未受診率	20% 以下 ^{※2}	0.0%	3.3%	6.2%	5.7%	令和4年度	40～74歳 男女計
精検未把握率	10% 以下 ^{※2}	6.3%	6.7%	5.2%	11.3%	令和4年度	40～74歳 男女計
陽性反応適中度	4.1% 以上	4.1%	6.8%	3.6%	2.3%	令和2～令和4年度	40～74歳 男女計
がん発見率	0.10% 以上	0.04%	0.06%	0.04%	0.04%	令和2～令和4年度	40～74歳 男女計

※1 プロセス指標で求められている目標値(50%以上)と算定方法が異なるため、便宜上30%を最大値としてグラフを作成する。

※2 旧プロセス指標値。令和6年1月改正のプロセス指標では、「精検未受診率と精検未把握率の合計が10%未満」となっている。

プロセス指標(抜粋) 結果

レーダーチャートが
大きい場合：結果が良好
小さい場合：改善が必要
を表しています。

精検未把握率
10%

要精検率
2.4%

※要精検率については、
低すぎる（レーダー
チャートが大きすぎる）
時も、問題がある場合が
あります。
→参考資料4 参照

精検未受診率
20%

精検受診率
90%

● 下北圏域

● 青森県

※□内のパーセンテージは「基準値」です。

【県コメント】

個別事項「プロセス指標」

別紙 8

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項

[令和 8 年 1 月 20 日付け青が生第 2 0 0 7 号通知]

自治体名

下北圏域

乳がん検診

プロセス指標	基準値等	下北圏域	(うち前年度 未受診)	(うち 2 年 連続受診)	津軽圏域	青森県	全国	対象年度	対象年齢
検診受診率	30% 以上※ ¹	20.2%	20.11%	0.06%	23.1%	20.2%	15.9%	令和 4 ～ 5 年度	40～74歳 女性
要精検率	6.5% 以下	5.4%			6.9%	6.6%	5.8%	令和 4 年度	40～74歳 女性
精検受診率	90% 以上	85.7%			91.4%	92.6%	89.9%	令和 4 年度	40～74歳 女性
精検未受診率	10% 以下※ ²	4.4%			2.2%	2.3%	2.8%	令和 4 年度	40～74歳 女性
精検未把握率	10% 以下※ ²	9.9%			6.4%	5.1%	7.4%	令和 4 年度	40～74歳 女性
陽性反応適中度	6.1% 以上	4.1%			5.5%	5.9%	5.8%	令和 2 ～ 令和 4 年度	40～74歳 女性
がん発見率	0.40% 以上	0.21%			0.34%	0.35%	0.34%	令和 2 ～ 令和 4 年度	40～74歳 女性

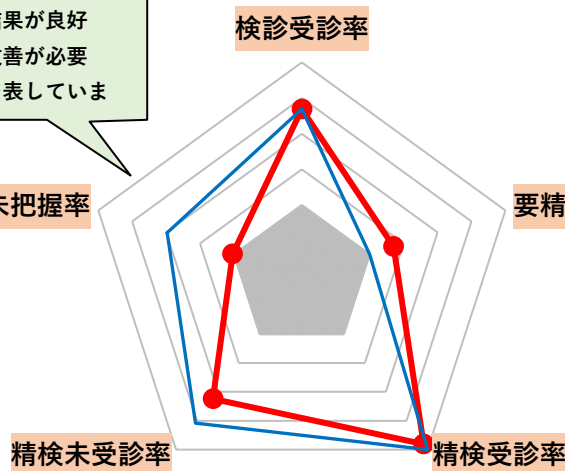
※1 プロセス指標で求められている目標値(50%以上)と算定方法が異なるため、便宜上30%を最大値としてグラフを作成する。

※2 旧プロセス指標値。令和6年1月改正のプロセス指標では、「精検未受診率と精検未把握率の合計が10%未満」となっている。

プロセス指標(抜粋) 結果

レーダーチャートが
大きい場合：結果が良好
小さい場合：改善が必要
を表しています。

※精密検査の未受診と
未把握の分類の仕方は
下記で確認できます。
→参考資料 3 参照



※要精検率については、
低すぎる（レーダー
チャートが大きすぎる）
時も、問題がある場合が
あります。
→参考資料 4 参照

● 下北圏域 ● 青森県 ※□内のパーセンテージは「基準値」です。

【県コメント】

＜検診受診率＞
県平均以下となっています。対象者を全員把握できているか、対象者へのコール・リコールが実施できているか、受診者の利便性（休日夜間の検診、バス送迎等）が確保できているか等検討してください。

＜検診受診率（受診間隔）＞
受診率は高いほうが望ましい指標ですが、受診間隔（2年に1回）は遵守する必要があります。

＜精検受診率＞
基準値以上となるよう、精検受診勧奨が適切に実施できているか、精検受診者の利便性が確保できているか等検討してください。併せて、精検未把握率が高くなっていないか確認してください。精検受診率が低いと陽性反応適中度とがん発見率は正確に評価できません。

個別事項「プロセス指標」

別紙 9

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項

[令和8年1月20日付け青が生第2007号通知]

自治体名

下北圏域

子宮頸がん検診

プロセス指標	基準値等	下北圏域	(うち前年度 未受診)	(うち2年 連続未受診)	青森圏域	青森県	全国	対象年度	対象年齢
検診受診率	30% 以上※1	15.9%	15.4%	0.5%	11.4%	18.2%	15.5%	令和4～5年度	20～74歳 女性
要精検率	2.5% 以下	1.1%			1.9%	1.9%	2.1%	令和4年度	20～74歳 女性
精検受診率	90% 以上	75.0%			91.7%	83.2%	78.0%	令和4年度	20～74歳 女性
精検未受診率	20% 以下※2	5.0%			0.9%	5.5%	6.2%	令和4年度	20～74歳 女性
精検未把握率	10% 以下※2	20.0%			7.3%	11.3%	15.8%	令和4年度	20～74歳 女性
陽性反応適中度	5.9% 以上※3	5.4%			10.1%	7.0%	6.6%	令和2～令和4年度	20～74歳 女性
がん発見率	0.15% 以上※3	0.07%			0.21%	0.14%	0.15%	令和2～令和4年度	20～74歳 女性

※1 プロセス指標で求められている目標値(50%以上)と算定方法が異なるため、便宜上30%を最大値としてグラフを作成する。

※2 旧プロセス指標値。令和6年1月改正のプロセス指標では、「精検未受診率と精検未把握率の合計が10%未満」とな

※3 令和6年1月改正のプロセス指標により、分子は「がんであった者(がん、AIS、GIN3であった者の和)」となった

【県コメント】

<検診受診率>

県平均以下となっています。対象者を全員把握できているか、対象者へのコール・リコールが実施できているか、受診者の利便性(休日夜間の検診、バス送迎等)が確保できているか等検討してください。

<検診受診率(受診間隔)>

受診率は高いほうが望ましい指標ですが、受診間隔(2年に1回)は遵守する必要があります。

<精検受診率>

基準値以上となるよう、精検受診勧奨が適切に実施できているか、精検受診者の利便性が確保できているか等検討してください。併せて、精検未把握率が高くなっていないか確認してください。精検受診率が低いと陽性反応適中度とがん発見率は正確に評価できません。

<精検未受診率>

基準値以下となっていますが、精検未把握率が高い場合、見かけ上未受診率が低くなることに注意してください。

<精検未把握率>

基準値以下となるよう、「精検受診の有無及び精検結果」を確実に把握できる体制ができているか検討してください。

プロセス指標(抜粋) 結果

レーダーチャートが
大きい場合：結果が良好
小さい場合：改善が必要
を表しています。

※精密検査の未受診と
未把握の分類の仕方は
下記で確認できます。
→参考資料3 参照

精検未把握率

検診受診率

要精検率

精検未受診率

精検受診率

※要精検率については、
低すぎる(レーダー
チャートが大きすぎる)
時も、問題がある場合
があります。
→参考資料4 参照

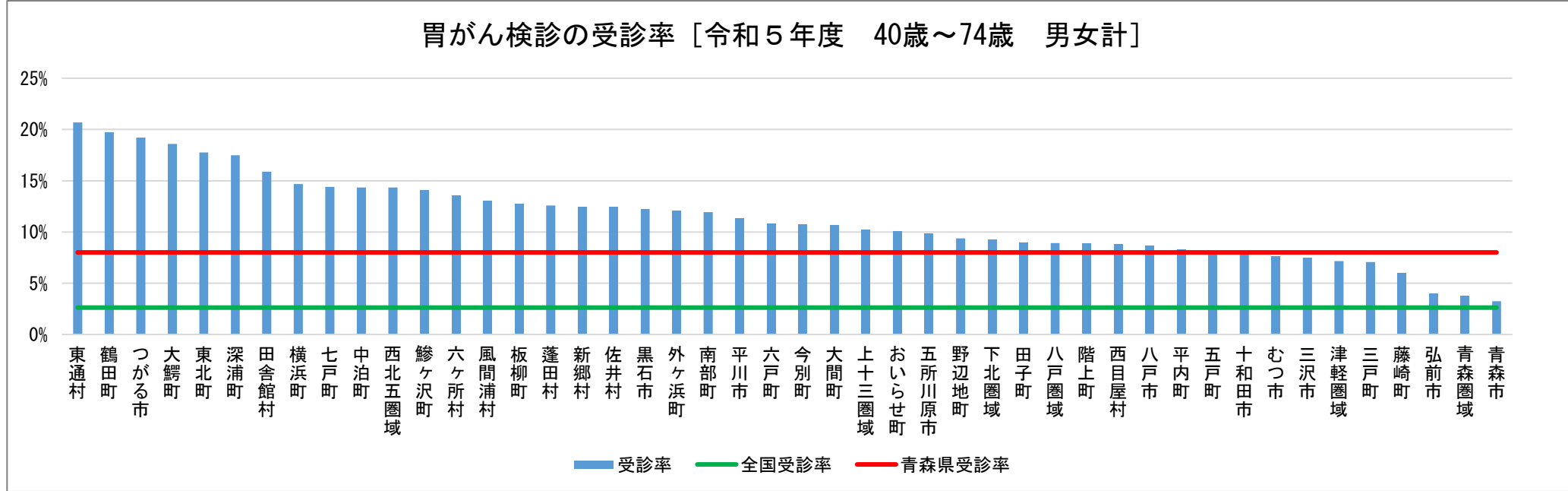
● 下北圏域 ● 青森県 ※□内のパーセンテージは「基準値」で

個別事項「プロセス指標」

令和5年度 胃がん検診（胃部X線）プロセス指標－受診率－

自治体名	下北圏域
------	------

1. 胃がん検診（胃部X線）の受診率



別紙4_参考1
がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項
[令和8年1月20日付け青が生第2007号通知]

指標の意義・一般的な対策

- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別／検診機関別／検診歴別（初回・非初回別）の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制（キャンペーン、利便性等）の改善について検討が必要です。

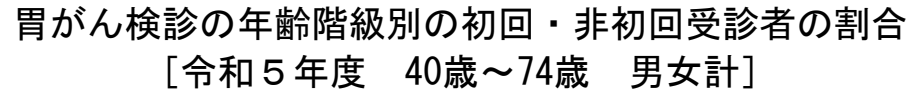
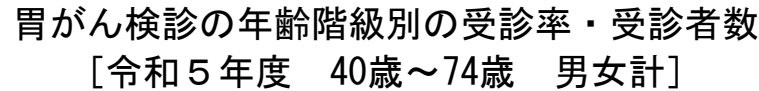
<胃がん検診（胃部X線）の受診率 [令和5年度 40歳～74歳 男女計] >

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	2.6%	8.0%	3.7%	7.2%	8.9%	14.3%	10.2%	9.3%	3.3%	4.0%	8.6%	12.2%	9.9%	7.8%	7.5%	7.6%	19.2%	11.3%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	40位	39位	31位	18位	26位	34位	36位	35位	3位	21位
受診者数	1,533,994	48,752	5,522	9,547	13,532	8,695	8,248	3,208	4,451	3,193	9,318	1,946	2,548	2,321	1,332	2,086	2,920	1,704
対象者数	58,479,841	608,909	147,409	133,151	152,022	60,610	81,054	34,663	136,766	79,917	107,926	15,898	25,848	29,582	17,745	27,311	15,213	15,054
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱒ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	8.3%	10.7%	12.6%	12.1%	14.1%	17.5%	8.8%	6.0%	18.6%	15.9%	12.7%	19.7%	14.4%	9.4%	14.4%	10.8%	14.7%	17.7%
順位	32位	23位	15位	19位	11位	6位	30位	38位	4位	7位	14位	2位	10位	27位	9位	22位	8位	5位
受診者数	450	119	165	337	664	644	51	433	826	579	815	1,173	746	575	1,078	567	293	1,440
対象者数	5,428	1,112	1,311	2,792	4,716	3,687	579	7,212	4,440	3,647	6,404	5,948	5,198	6,131	7,485	5,247	1,997	8,113
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	[受診率の計算方法について] 受診者数÷対象者数＝受診率 ※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算しているため他の統計の受診率と異なる。 ※胃部内視鏡検査も実施している場合、検診受診率が見かけ上、低くなっている可能性がある。					
受診率	13.5%	10.1%	10.7%	20.7%	13.1%	12.4%	7.1%	8.0%	9.0%	11.9%	8.9%	12.4%						
順位	12位	25位	24位	1位	13位	17位	37位	33位	28位	20位	29位	16位						
受診者数	642	1,254	271	622	115	114	324	654	228	1,013	610	131						
対象者数	4,754	12,431	2,543	3,009	881	919	4,591	8,132	2,541	8,492	6,855	1,054						

（出典：2023 (R5) 年度地域保健・健康増進事業報告） ※対象者数（分母）は対象年齢の全住民で、受診者数（分子）は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

自治体名	下北圏域
------	------

2. 胃がん検診（胃部X線）の受診者の状況



＜胃がん検診（胃部X線）の年齢階級別の受診者数・受診率〔令和５年度 男女計〕＞

区分		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～69歳	40～74歳	50～69歳	50～74歳
下北圏域	対象者数	3,904	4,783	4,745	4,344	4,955	5,439	6,493	12,123		46,786	28,170	34,663	19,483	25,976
下北圏域	受診者数	248	304	310	320	474	685	867	604	334	4,146	2,341	3,208	1,789	2,656
下北圏域	初回受診者数	103	65	67	71	81	100	74	69	43	673	487	561	319	393
下北圏域	非初回受診者数	116	203	215	224	364	534	720	500	272	3,148	1,656	2,376	1,337	2,057
下北圏域	受診歴不明	29	36	28	25	29	51	73	35	19	325	198	271	133	206
下北圏域	受診率	6.4%	6.4%	6.5%	7.4%	9.6%	12.6%	13.4%	7.7%		8.9%	8.3%	9.3%	9.2%	10.2%
青森県	対象者数	70,568	82,669	86,852	82,983	87,808	92,936	105,093	227,053		835,962	503,816	608,909	350,579	455,672
青森県	受診者数	2,941	3,404	4,134	4,672	7,061	11,408	15,132	10,311	6,409	65,472	33,620	48,752	27,275	42,407
青森県	初回受診者数	1,334	835	1,016	1,024	1,490	1,999	1,793	1,240	734	11,465	7,698	9,491	5,529	7,322
青森県	非初回受診者数	1,578	2,533	3,090	3,623	5,541	9,357	13,264	9,036	5,656	53,678	25,722	38,986	21,611	34,875
青森県	受診歴不明	29	36	28	25	30	52	75	35	19	329	200	275	135	210
青森県	受診率	4.2%	4.1%	4.8%	5.6%	8.0%	12.3%	14.4%	7.4%		7.8%	6.7%	8.0%	7.8%	9.3%

※初回受診者＝過去３年間に受診歴がない者

※非初回受診者＝過去3年間に受診歴がある者



※受診者数はR5年度の受診者数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

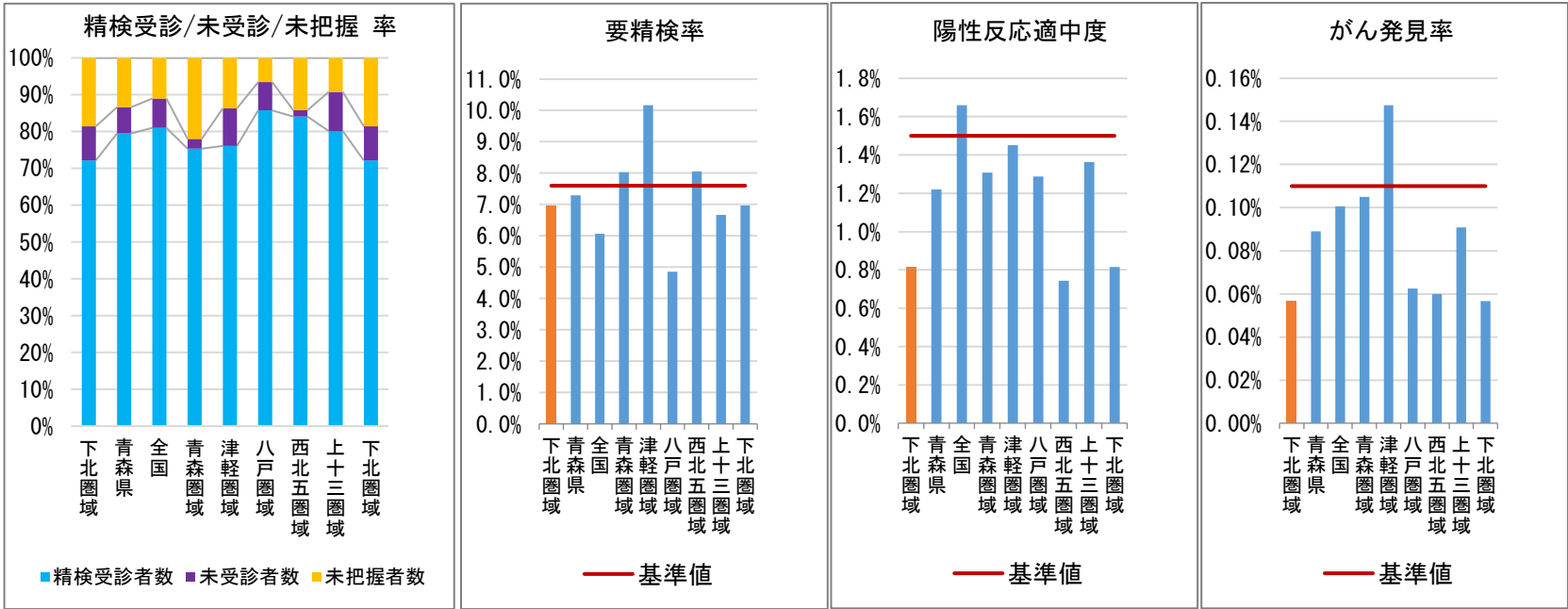
※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

個別事項「プロセス指標」（別紙４とは対象年度が異なる点に留意）

令和2年度～令和4年度 胃がん検診（胃部X線）プロセス指標－受診率を除く－

自治体名	下北圏域
------	------

1. 胃がん検診（胃部X線）のプロセス指標（受診率を除く）



※基準値以下で極端な高低がないこと ※基準値以上で極端な高低がないこと ※基準値以上で極端な高低がないこと

<胃がん検診（胃部X線）のプロセス指標〔令和2～4年度 50歳～74歳 男女計〕>

区分	下北圏域	青森県	全国	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	基準値
受診者数	8,816	134,806	3,996,009	19,045	26,432	36,809	21,682	22,022	8,816	—
要精検者数	614	9,831	242,333	1,530	2,687	1,785	1,747	1,468	614	—
未把握者数	114	1,321	26,812	337	367	118	249	136	114	—
未受診者数	57	696	19,389	40	277	137	29	156	57	—
精検受診者数	443	7,814	196,132	1,153	2,043	1,530	1,469	1,176	443	—
がんであった者	5	120	4,021	20	39	23	13	20	5	—
要精検率	7.0%	7.3%	6.1%	8.0%	10.2%	4.8%	8.1%	6.7%	7.0%	7.6% 以下
精検受診率	72.1%	79.5%	80.9%	75.4%	76.0%	85.7%	84.1%	80.1%	72.1%	90% 以上
未受診率＋未把握率	27.9%	20.5%	19.1%	24.6%	24.0%	14.3%	15.9%	19.9%	27.9%	10% 以下
陽性反応適中度	0.8%	1.2%	1.7%	1.3%	1.5%	1.3%	0.7%	1.4%	0.8%	1.5% 以上
がん発見率	0.06%	0.09%	0.10%	0.11%	0.15%	0.06%	0.06%	0.09%	0.06%	0.11% 以上

※要精検率のプロセス指標について、受診間隔は1年間隔のものである。

別紙4_参考2

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項

[令和8年1月20日付け青が生第2007号通知]

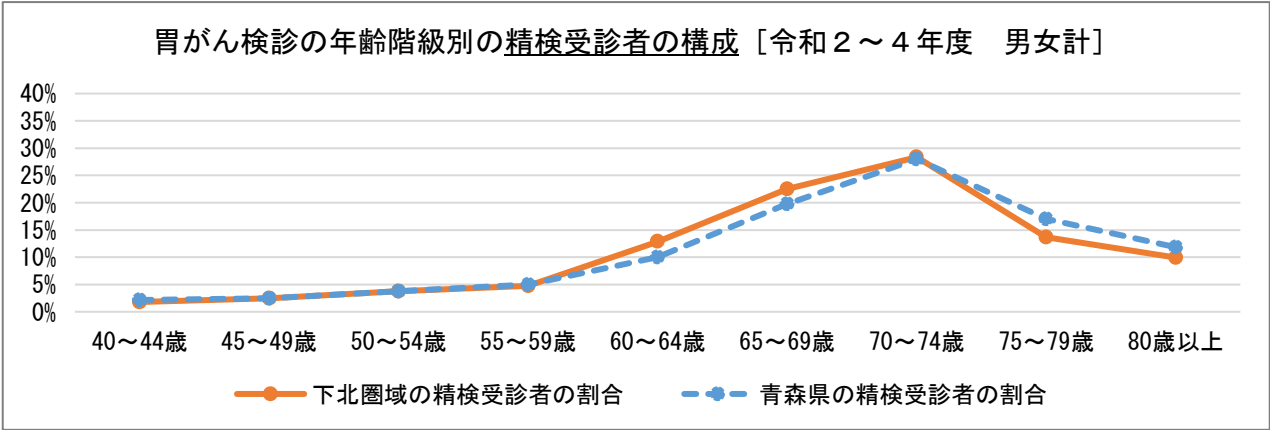
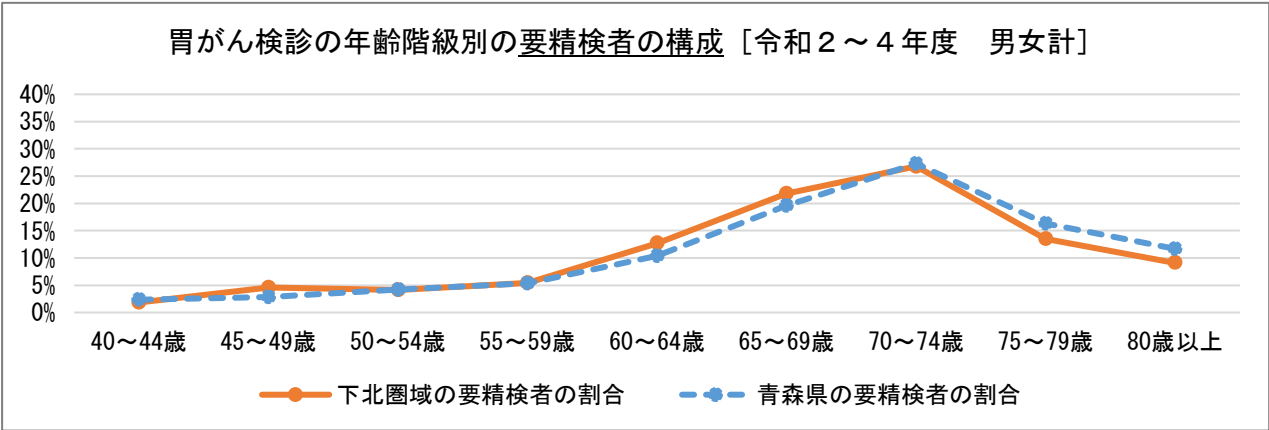
指標の意義・一般的な対策	
精検受診率 未受診率 未把握率	- 要精検者の精検受診状況を測る指標です。 - 精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、100%に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。 - 精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率100%に向けて取り組む必要があります。
要精検率	- 検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 - 要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
陽性反応適中度	- 検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 - 陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
がん発見率	- 検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 - がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。

〔計算方法〕●要精検率＝精検受診者数÷受診者数、●精検受診率＝精検受診者数÷要精検者数、●未受診率＝未受診者数÷要精検者数、●未把握率＝未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度＝がんであった者÷要精検者数、●がん発見率＝がんであった者÷受診者数

（出典：R3～R5年度地域保健・健康増進事業報告）

自治体名	下北圏域
------	------

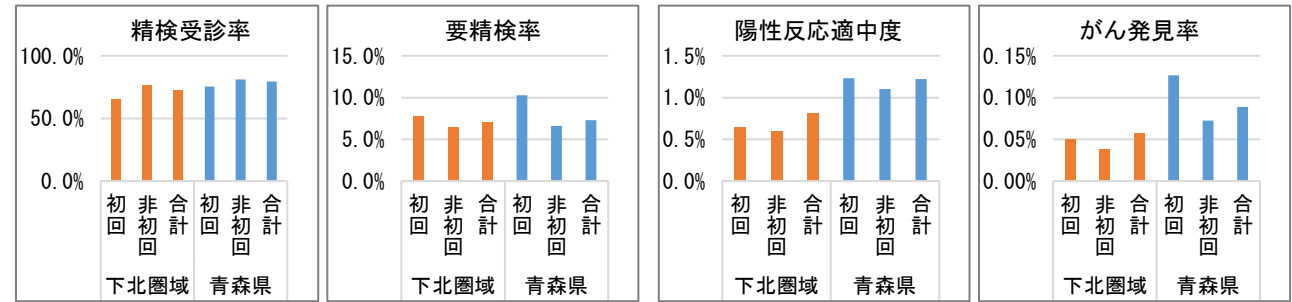
2. 胃がん検診（胃部X線）の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



<胃がん検診（胃部X線）の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率 [令和2～4年度 男女計] >

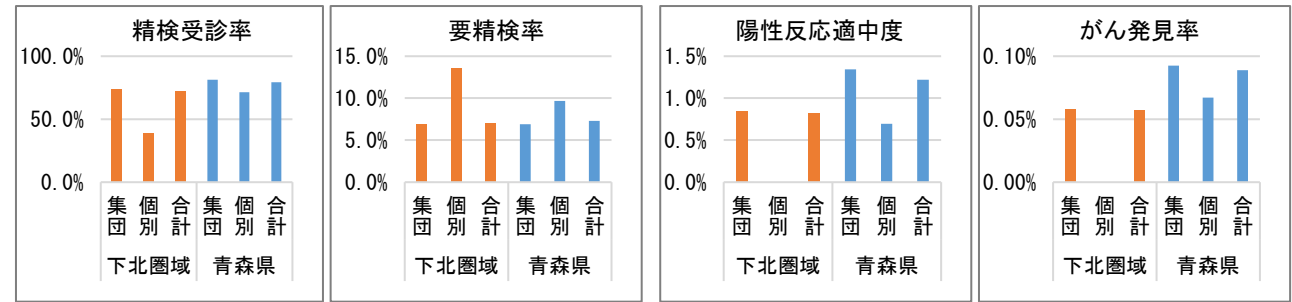
区分		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～74歳
下北圏域	要精検者数	16	40	36	47	110	189	232	117	79	866	670
下北圏域	精検受診者数	11	15	23	29	79	138	174	84	61	614	469
下北圏域	精検受診率	68.8%	37.5%	63.9%	61.7%	71.8%	73.0%	75.0%	71.8%	77.2%	70.9%	70.0%
青森県	要精検者数	346	415	622	784	1,526	2,883	4,016	2,403	1,718	14,713	10,592
青森県	精検受診者数	254	293	439	587	1,175	2,325	3,288	1,999	1,390	11,750	8,361
青森県	精検受診率	73.4%	70.6%	70.6%	74.9%	77.0%	80.6%	81.9%	83.2%	80.9%	79.9%	78.9%

<胃がん検診（胃部X線）の受診歴別のプロセス指標 [令和2～4年度 50歳～74歳 男女計] >



区分		受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
下北圏域	初回	1,992	155	101	1	7.8%	65.2%	0.6%	0.05%
下北圏域	非初回	5,279	338	258	2	6.4%	76.3%	0.6%	0.04%
下北圏域	合計	8,816	614	443	5	7.0%	72.1%	0.8%	0.06%
青森県	初回	21,313	2,193	1,653	27	10.3%	75.4%	1.2%	0.13%
青森県	非初回	99,406	6,541	5,296	72	6.6%	81.0%	1.1%	0.07%
青森県	合計	134,806	9,831	7,814	120	7.3%	79.5%	1.2%	0.09%

<胃がん検診（胃部X線）の検診方式別のプロセス指標 [令和2～令和4年度 50歳～74歳 男女計] >



区分		受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
下北圏域	集団検診	8,647	591	434	5	6.8%	73.4%	0.8%	0.06%
下北圏域	個別検診	169	23	9	0	13.6%	39.1%	0.0%	0.00%
下北圏域	合計	8,816	614	443	5	7.0%	72.1%	0.8%	0.06%
青森県	集団検診	115,458	7,956	6,474	107	6.9%	81.4%	1.3%	0.09%
青森県	個別検診	19,348	1,875	1,340	13	9.7%	71.5%	0.7%	0.07%
青森県	合計	134,806	9,831	7,814	120	7.3%	79.5%	1.2%	0.09%

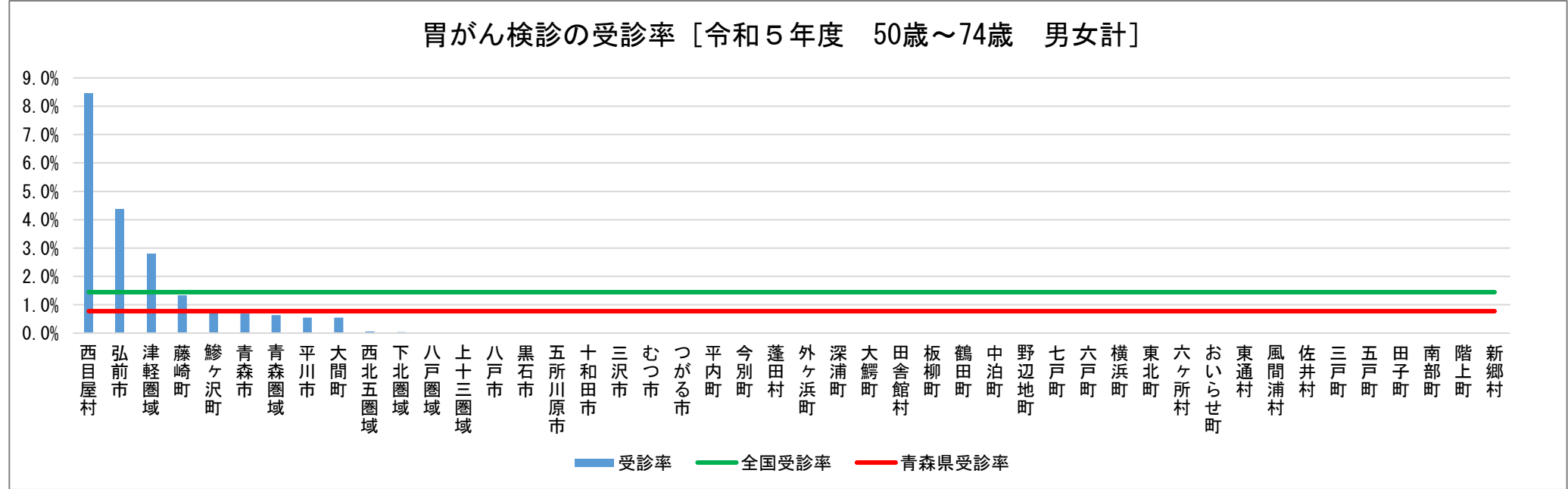
（出典：R3～R5年度地域保健・健康増進事業報告）

個別事項「プロセス指標」

令和５年度 胃がん検診（胃部内視鏡）プロセス指標－受診率－

自治体名	下北圏域
------	------

1. 胃がん検診（胃部内視鏡）の受診率



別紙5_参考1
がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項
[令和8年1月20日付け青が生第2007号通知]

指標の意義・一般的な対策

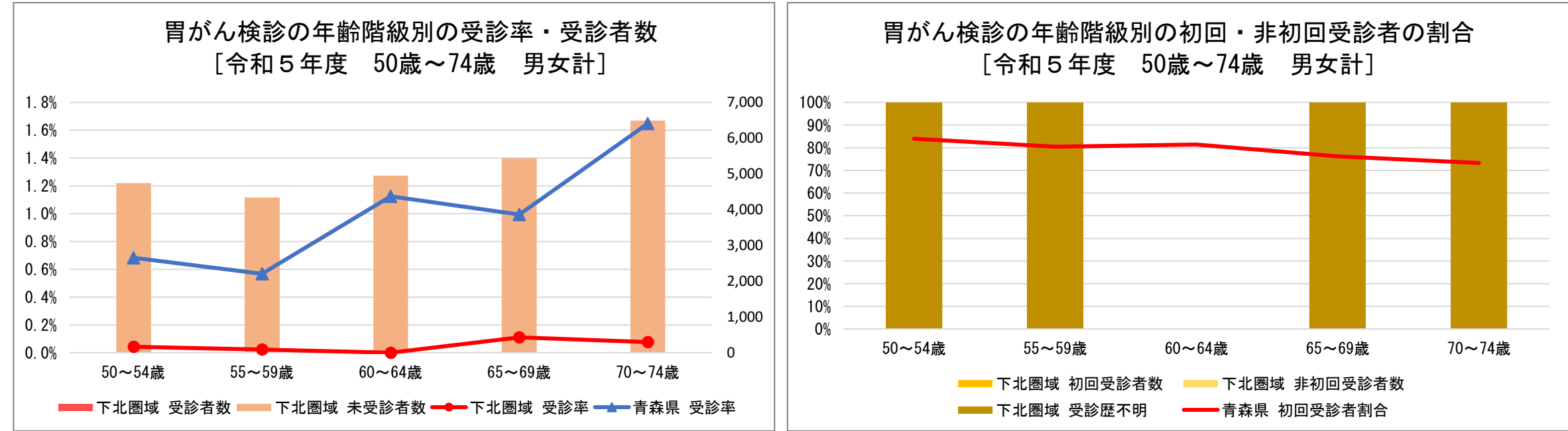
- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別／検診機関別／検診歴別（初回・非初回別）の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制（キャンペーン、利便性等）の改善について検討が必要です。

＜胃がん検診（胃部内視鏡）の受診率 [令和５年度 50歳～74歳 男女計] ＞

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	1.4%	0.8%	0.6%	2.8%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.7%	4.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2位	—	—	—	—	—	—	—	—
受診者数	844,429	4,708	942	3,715	0	37	0	14	942	3,487	0	0	0	0	0	0	0	83
対象者数	58,479,841	608,909	147,409	133,151	152,022	60,610	81,054	34,663	136,766	79,917	107,926	15,898	25,848	29,582	17,745	27,311	15,213	15,054
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鰺ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	8.5%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
順位	—	—	—	—	—	—	1位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
受診者数	0	0	0	0	37	0	49	96	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
対象者数	5,428	1,112	1,311	2,792	4,716	3,687	579	7,212	4,440	3,647	6,404	5,948	5,198	6,131	7,485	5,247	1,997	8,113
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	〔受診率の計算方法について〕 受診者数÷対象者数＝受診率 ※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算しているため他の統計の受診率と異なる。 ※2年連続受診者の算定が困難であるため、その者がいた場合、検診受診率に含まれている。					
受診率	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%						
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
受診者数	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
対象者数	4,754	12,431	2,543	3,009	881	919	4,591	8,132	2,541	8,492	6,855	1,054						

（出典：R5年度地域保健・健康増進事業報告） ※対象者数（分母）は対象年齢の全住民で、受診者数（分子）は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

2. 胃がん検診（胃部内視鏡）の受診者の状況



<胃がん検診（胃部内視鏡）の年齢階級別の受診者数・受診率 [令和5年度 男女計]>

区分		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	50～69歳	50～74歳
下北圏域	対象者数			4,745	4,344	4,955	5,439	6,493	12,123		38,099	19,483	25,976
下北圏域	受診者数			2	1	0	6	5	2	2	18	9	14
下北圏域	初回受診者数			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下北圏域	非初回受診者数			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下北圏域	受診歴不明			2	1	0	6	5	2	2	18	9	14
下北圏域	受診率			0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%		0.0%	0.0%	0.1%
青森県	対象者数			86,852	82,983	87,808	92,936	105,093	227,053		682,725	350,579	455,672
青森県	受診者数			593	471	988	924	1,732	939	1,130	6,777	2,976	4,708
青森県	初回受診者数			498	379	805	704	1,269	681	902	5,238	2,386	3,655
青森県	非初回受診者数			86	82	173	204	445	245	200	1,435	545	990
青森県	受診歴不明			9	10	10	16	18	13	28	104	45	63
青森県	受診率			0.7%	0.6%	1.1%	1.0%	1.6%	0.9%		1.0%	0.8%	1.0%

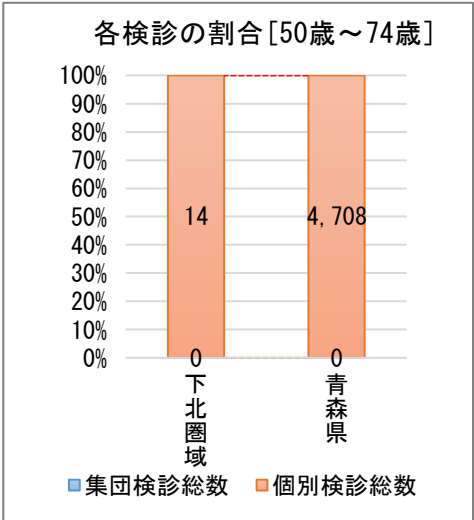
※受診者数はR5年度の受診者数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

※初回受診者＝過去3年間に受診歴がない者

※非初回受診者＝過去3年間に受診歴がある者

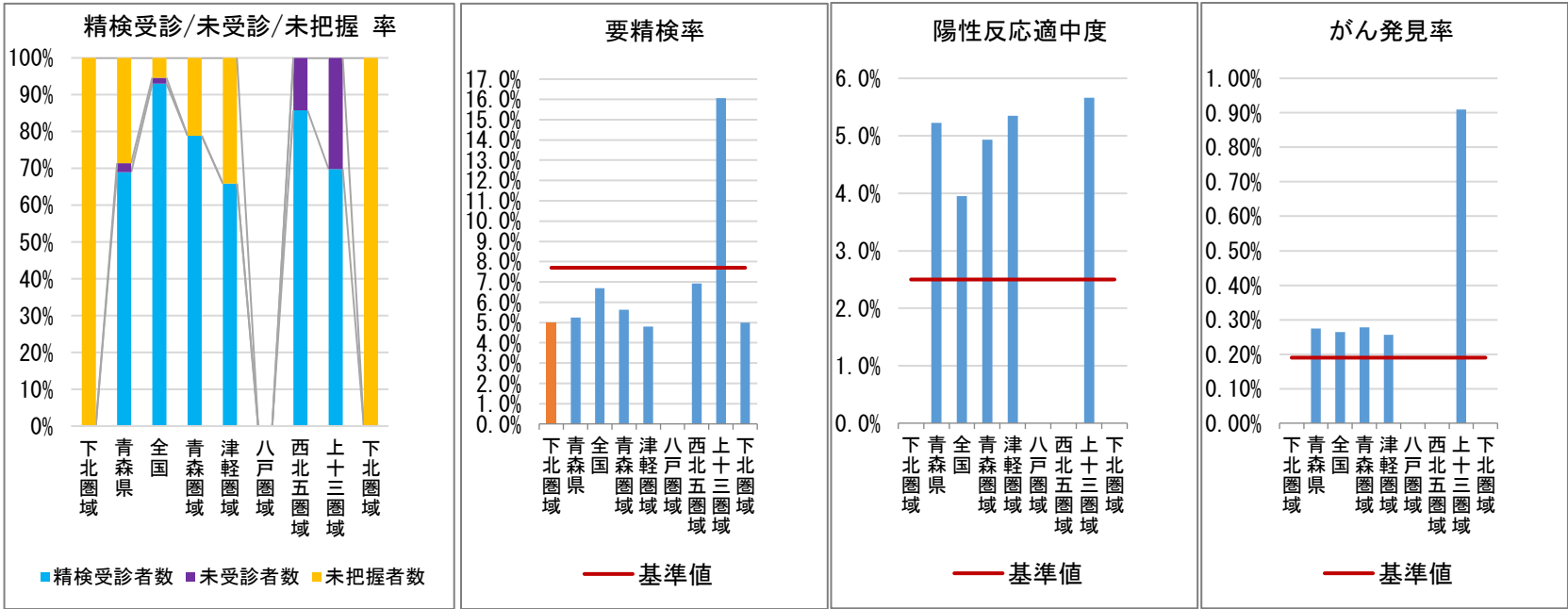


個別事項「プロセス指標」（別紙 5 とは対象年度が異なる点に留意）

令和 2 ～令和 4 年度 胃がん検診（胃部内視鏡）プロセス指標－受診率を除く－

自治体名	下北圏域
------	------

1. 胃がん検診（胃部内視鏡）のプロセス指標（受診率を除く）



※基準値以下で極端な高低がないこと ※基準値以上で極端な高低がないこと ※基準値以上で極端な高低がないこと

＜胃がん検診（胃部内視鏡）のプロセス指標〔令和 2 ～令和 4 年度 50 歳～74 歳 男女計〕＞

区分	下北圏域	青森県	全国	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	基準値
受診者数	20	13,120	2,286,978	2,523	10,146	0	101	330	20	—
要精検者数	1	689	152,978	142	486	0	7	53	1	—
未把握者数	1	197	8,089	30	166	0	0	0	1	—
未受診者数	0	17	2,344	0	0	0	1	16	0	—
精検受診者数	0	475	139,581	112	320	0	6	37	0	—
がんであった者	0	36	6,046	7	26	0	0	3	0	—
要精検率	5.0%	5.3%	6.7%	5.6%	4.8%	0.0%	6.9%	16.1%	5.0%	7.7% 以下
精検受診率	0.0%	68.9%	91.2%	78.9%	65.8%	0.0%	85.7%	69.8%	0.0%	90% 以上
未受診率＋未把握率	100.0%	31.1%	6.8%	21.1%	34.2%	0.0%	14.3%	30.2%	100.0%	10% 以下
陽性反応適中度	0.0%	5.2%	4.0%	4.9%	5.3%	0.0%	0.0%	5.7%	0.0%	2.5% 以上
がん発見率	0.00%	0.27%	0.26%	0.28%	0.26%	0.00%	0.00%	0.91%	0.00%	0.19% 以上

〔計算方法〕●要精検率＝精検受診者数÷受診者数、●精検受診率＝精検受診者数÷要精検者数、●未受診率＝未受診者数÷要精検者数、●未把握率＝未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度＝がんであった者÷要精検者数、●がん発見率＝がんであった者÷受診者数

（出典：R3～R5 年度地域保健・健康増進事業報告）

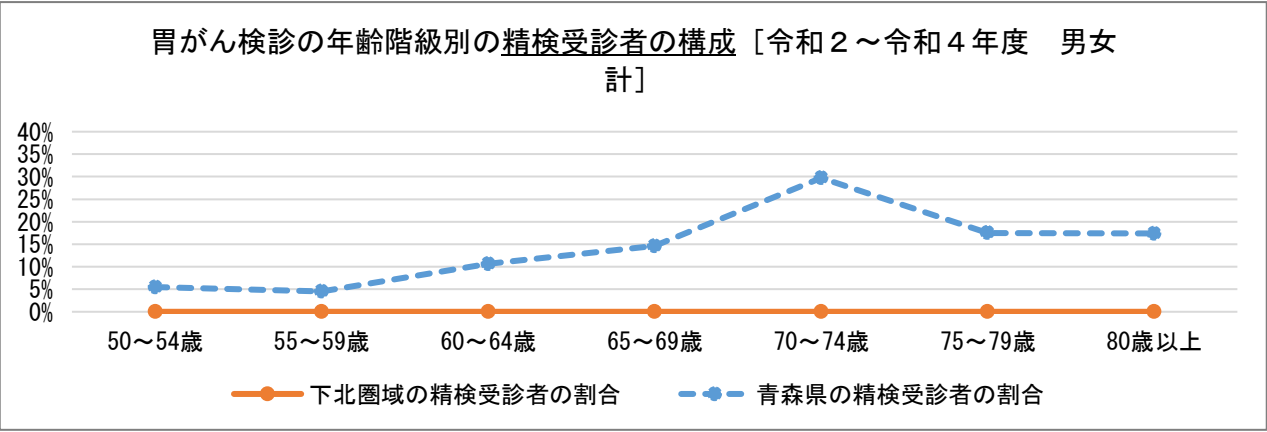
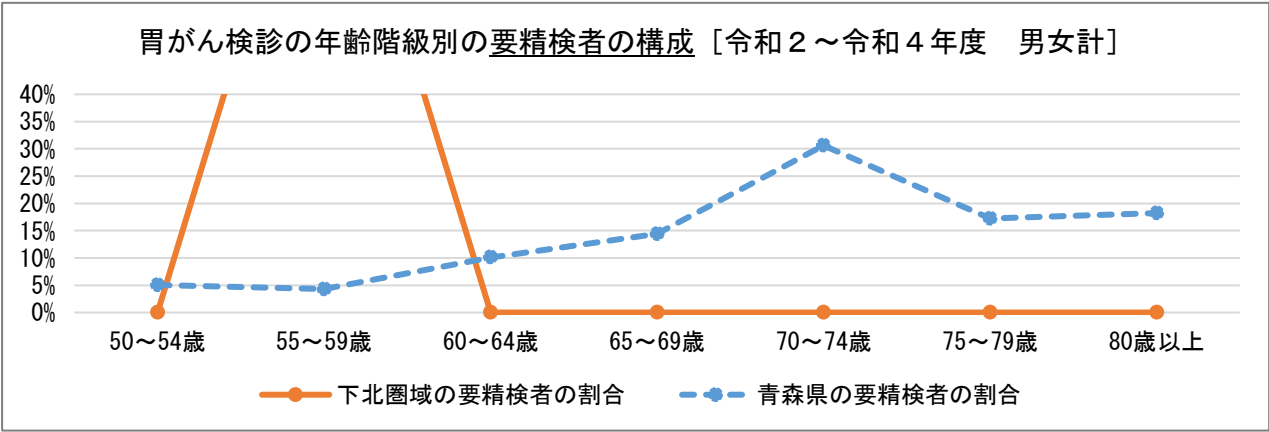
別紙 5_参考 2

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項

〔令和 8 年 1 月 20 日付け青が生第 2 0 0 7 号通知〕

指標の意義・一般的な対策	
精検受診率 未受診率 未把握率	- 要精検者の精検受診状況を測る指標です。 - 精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、100%に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。 - 精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率100%に向けて取り組む必要があります。
要精検率	- 検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 - 要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
陽性反応適中度	- 検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 - 陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
がん発見率	- 検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 - がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。

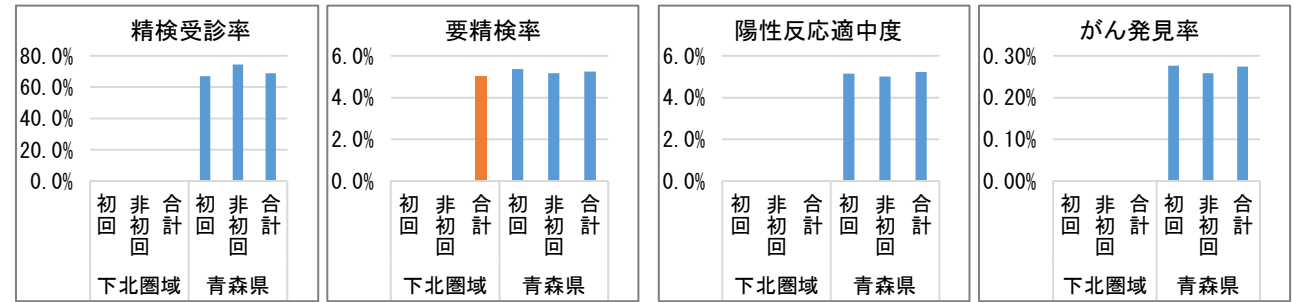
2. 胃がん検診（胃部内視鏡）の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



＜胃がん検診（胃部内視鏡）の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率 [令和2～令和4年度 男女計]＞

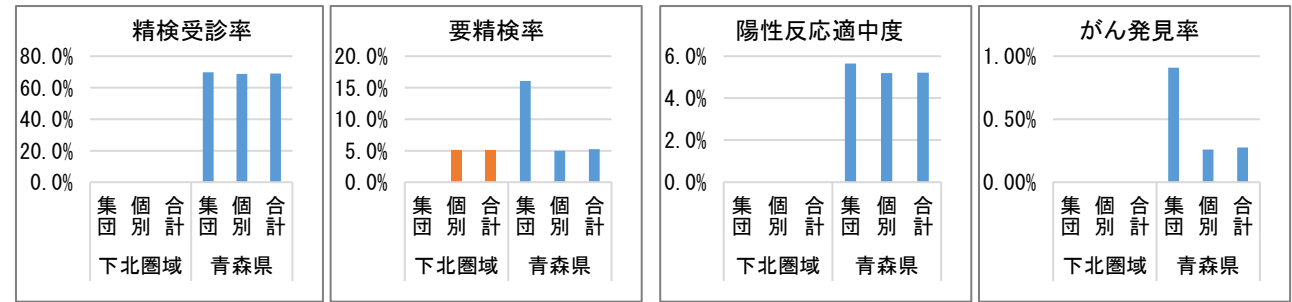
区分		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	50～74歳
下北圏域	要精検者数			0	1	0	0	0	0	0	1	1
下北圏域	精検受診者数			0	0	0	0	0	0	0	0	0
下北圏域	精検受診率			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
青森県	要精検者数			54	46	108	154	327	184	195	1,068	689
青森県	精検受診者数			40	33	78	107	217	128	127	730	475
青森県	精検受診率			74.1%	71.7%	72.2%	69.5%	66.4%	69.6%	65.1%	68.4%	68.9%

＜胃がん検診（胃部内視鏡）の受診歴別のプロセス指標 [令和2～令和4年度 50歳～74歳 男女計]＞



区分		受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
下北圏域	初回	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.00%
下北圏域	非初回	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.00%
下北圏域	合計	20	1	0	0	5.0%	0.0%	0.0%	0.00%
青森県	初回	9,420	506	339	26	5.4%	67.0%	5.1%	0.28%
青森県	非初回	3,487	180	134	9	5.2%	74.4%	5.0%	0.26%
青森県	合計	13,120	689	475	36	5.3%	68.9%	5.2%	0.27%

＜胃がん検診（胃部内視鏡）の検診方式別のプロセス指標 [令和2～令和4年度 50歳～74歳 男女計]＞



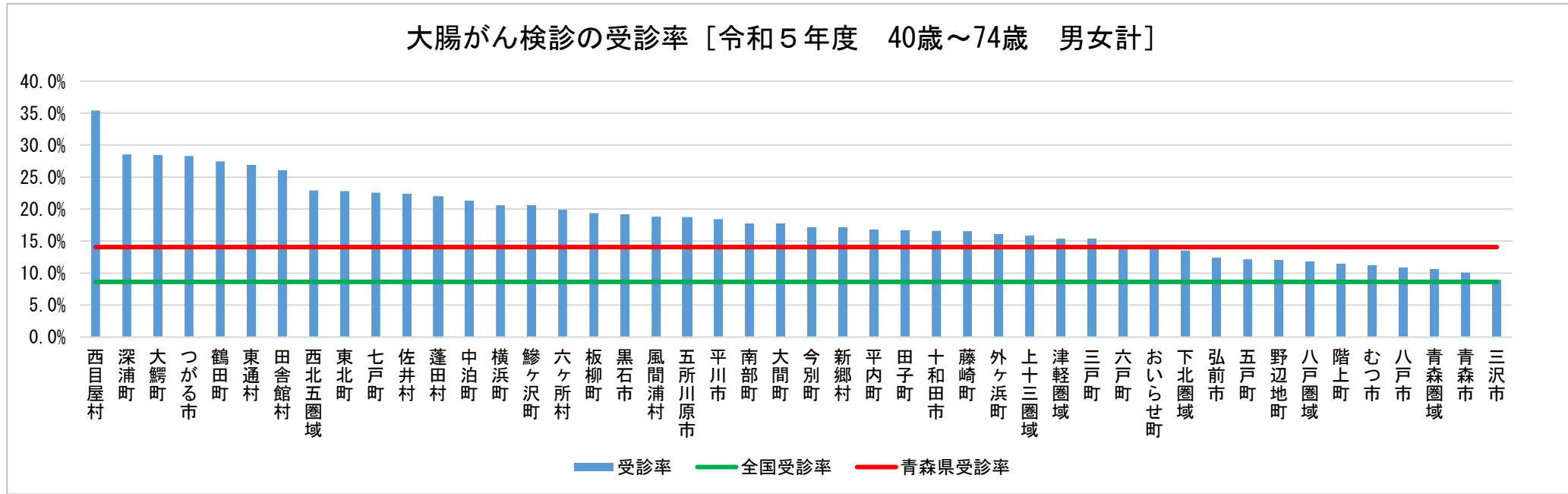
区分		受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
下北圏域	集団検診	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.00%
下北圏域	個別検診	20	1	0	0	5.0%	0.0%	0.0%	0.00%
下北圏域	合計	20	1	0	0	5.0%	0.0%	0.0%	0.00%
青森県	集団検診	330	53	37	3	16.1%	69.8%	5.7%	0.91%
青森県	個別検診	12,790	636	438	33	5.0%	68.9%	5.2%	0.26%
青森県	合計	13,120	689	475	36	5.3%	68.9%	5.2%	0.27%

個別事項「プロセス指標」

令和５年度 大腸がん検診プロセス指標－受診率－

自治体名	下北圏域
------	------

1. 大腸がん検診の受診率



別紙6_参考1
がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項
[令和8年1月20日付け青が生第2007号通知]

指標の意義・一般的な対策

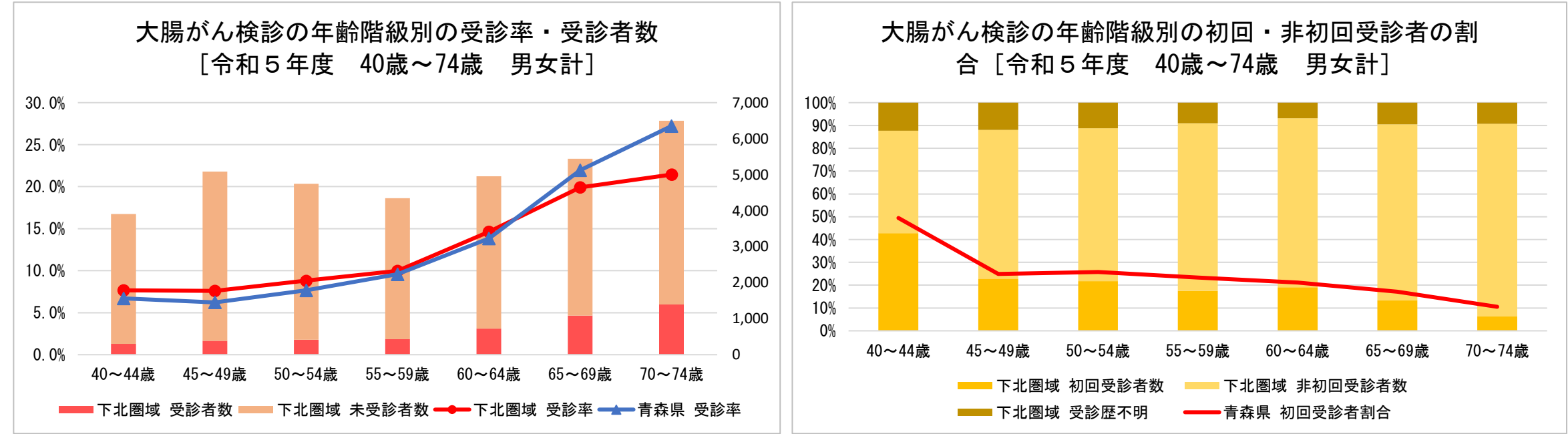
- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別／検診機関別／検診歴別（初回・非初回別）の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制（キャパシティ、利便性等）の改善について検討が必要です。

＜大腸がん検診の受診率 [令和５年度 40歳～74歳 男女計] ＞

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	8.6%	14.1%	10.6%	15.4%	11.8%	22.9%	15.9%	13.6%	10.1%	12.4%	10.8%	19.2%	18.6%	16.6%	8.9%	11.2%	28.3%	18.4%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	39位	33位	38位	17位	19位	27位	40位	37位	4位	20位
受診者数	5,054,628	85,624	15,636	20,490	18,004	13,886	12,870	4,738	13,796	9,873	11,703	3,045	4,818	4,908	1,583	3,105	4,306	2,774
対象者数	58,581,516	608,909	147,409	132,851	152,022	60,610	81,054	34,963	136,766	79,917	107,926	15,898	25,848	29,582	17,745	27,611	15,213	15,054
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鰺ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	16.8%	17.2%	21.9%	16.0%	20.6%	28.6%	35.4%	16.5%	28.4%	26.0%	19.3%	27.5%	21.3%	12.1%	22.6%	14.1%	20.6%	22.8%
順位	25位	23位	11位	29位	14位	2位	1位	28位	3位	7位	16位	5位	12位	35位	9位	31位	13位	8位
受診者数	914	191	287	448	970	1,053	205	1,143	1,262	949	1,239	1,633	1,106	739	1,689	740	411	1,853
対象者数	5,428	1,112	1,311	2,792	4,716	3,687	579	6,912	4,440	3,647	6,404	5,948	5,198	6,131	7,485	5,247	1,997	8,113
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	[受診率の計算方法について] 受診者数÷対象者数＝受診率 ※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算しているため他の統計の受診率と異なる。					
受診率	19.9%	13.8%	17.7%	26.9%	18.8%	22.4%	15.4%	12.1%	16.6%	17.8%	11.4%	17.2%						
順位	15位	32位	22位	6位	18位	10位	30位	34位	26位	21位	36位	24位						
受診者数	947	1,711	451	810	166	206	706	988	423	1,509	783	181						
対象者数	4,754	12,431	2,543	3,009	881	919	4,591	8,132	2,541	8,492	6,855	1,054						

（出典：R5年度地域保健・健康増進事業報告） ※対象者数（分母）は対象年齢の全住民で、受診者数（分子）は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

2. 大腸がん検診の受診者の状況



＜大腸がん検診の年齢階級別の受診者数・受診率〔令和5年度 男女計〕＞

区分		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～69歳	40～74歳
下北圏域	対象者数	3,904	5,083	4,745	4,344	4,955	5,439	6,493	12,123		47,086	28,470	34,963
下北圏域	受診者数	299	386	418	434	725	1,084	1,392	979	718	6,435	3,346	4,738
下北圏域	初回受診者数	128	88	91	76	138	145	89	79	61	895	666	755
下北圏域	非初回受診者数	134	252	280	319	537	836	1,174	837	611	4,980	2,358	3,532
下北圏域	受診歴不明	37	46	47	39	50	103	129	63	46	560	322	451
下北圏域	受診率	7.7%	7.6%	8.8%	10.0%	14.6%	19.9%	21.4%	14.0%		13.7%	11.8%	13.6%
青森県	対象者数	70,568	82,969	86,852	82,683	87,808	92,936	105,093	227,015		835,924	503,816	608,909
青森県	受診者数	4,728	5,164	6,645	7,912	12,149	20,423	28,603	21,580	18,671	125,875	57,021	85,624
青森県	初回受診者数	2,338	1,285	1,715	1,843	2,577	3,499	3,012	2,126	1,960	20,355	13,257	16,269
青森県	非初回受診者数	2,350	3,831	4,872	6,019	9,508	16,788	25,432	19,367	16,631	104,798	43,368	68,800
青森県	受診歴不明	40	48	58	50	64	136	159	87	80	722	396	555
青森県	受診率	6.7%	6.2%	7.7%	9.6%	13.8%	22.0%	27.2%	17.7%		15.1%	11.3%	14.1%

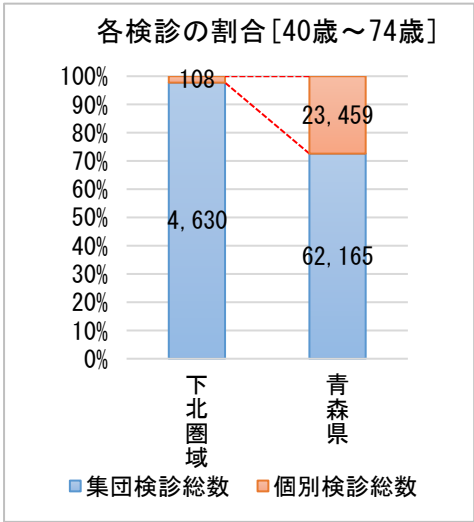
※受診者数はR5年度の受診者数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

※初回受診者＝過去3年間に受診歴がない者

※非初回受診者＝過去3年間に受診歴がある者

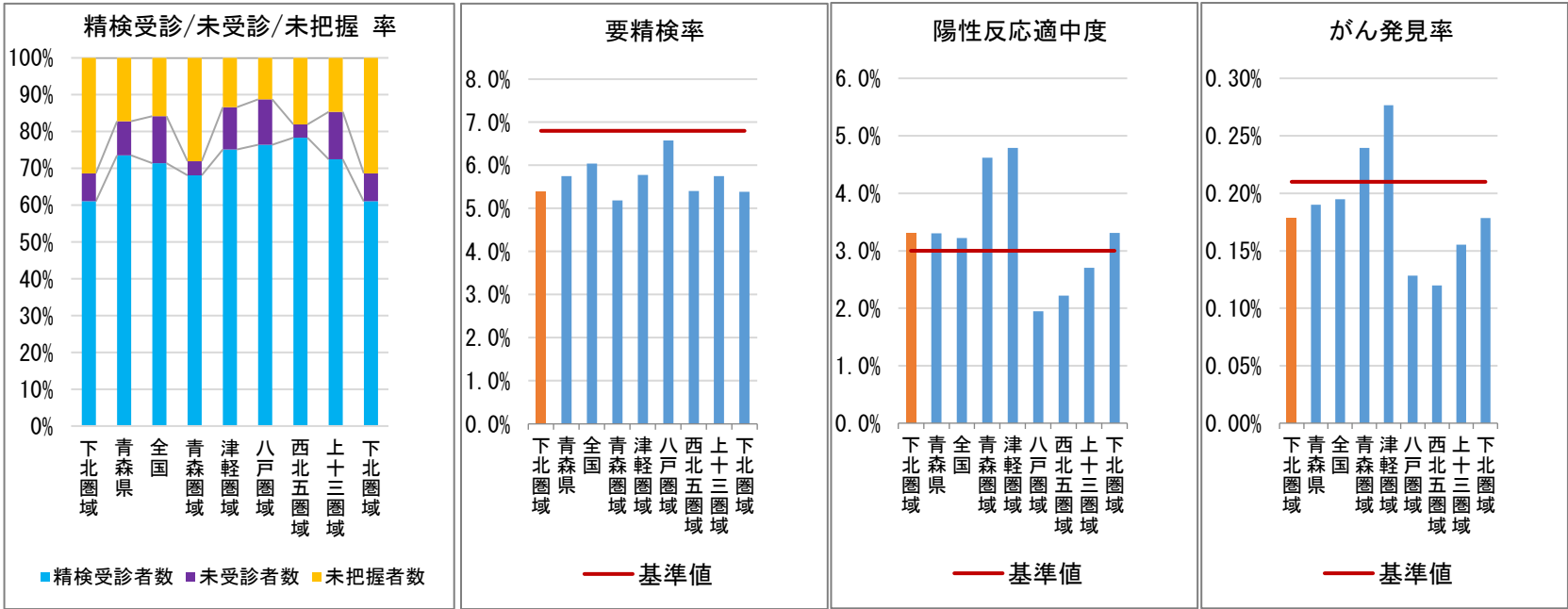


個別事項「プロセス指標」（別紙 6 とは対象年度が異なる点に留意）

令和 2 ～令和 4 年度 大腸がん検診プロセス指標－受診率を除く－

自治体名	下北圏域
------	------

1. 大腸がん検診のプロセス指標（受診率を除く）



※基準値以下で極端な高低がないこと ※基準値以上で極端な高低がないこと ※基準値以上で極端な高低がないこと

＜大腸がん検診のプロセス指標〔令和 2 ～令和 4 年度 40歳～74歳 男女計〕＞

区分	下北圏域	青森県	全国	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	基準値
受診者数	14,577	264,781	15,584,701	50,522	62,157	54,601	41,701	41,223	14,577	—
要精検者数	785	15,214	940,688	2,619	3,593	3,592	2,255	2,370	785	—
未把握者数	246	2,620	148,569	734	480	405	407	348	246	—
未受診者数	60	1,403	120,476	101	413	442	82	305	60	—
精検受診者数	479	11,191	671,643	1,784	2,700	2,745	1,766	1,717	479	—
がんであった者	26	503	30,337	121	172	70	50	64	26	—
要精検率	5.4%	5.7%	6.0%	5.2%	5.8%	6.6%	5.4%	5.7%	5.4%	6.8% 以下
精検受診率	61.0%	73.6%	71.4%	68.1%	75.1%	76.4%	78.3%	72.4%	61.0%	90% 以上
未受診率＋未把握率	39.0%	26.4%	28.6%	31.9%	24.9%	23.6%	21.7%	27.6%	39.0%	10% 以下
陽性反応適中度	3.3%	3.3%	3.2%	4.6%	4.8%	1.9%	2.2%	2.7%	3.3%	3.0% 以上
がん発見率	0.18%	0.19%	0.19%	0.24%	0.28%	0.13%	0.12%	0.16%	0.18%	0.21% 以上

〔計算方法〕●要精検率＝精検受診者数÷受診者数、●精検受診率＝精検受診者数÷要精検者数、●未受診率＝未受診者数÷要精検者数、●未把握率＝未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度＝がんであった者÷要精検者数、●がん発見率＝がんであった者÷受診者数

（出典：R 3 ～R 5 年度地域保健・健康増進事業報告）

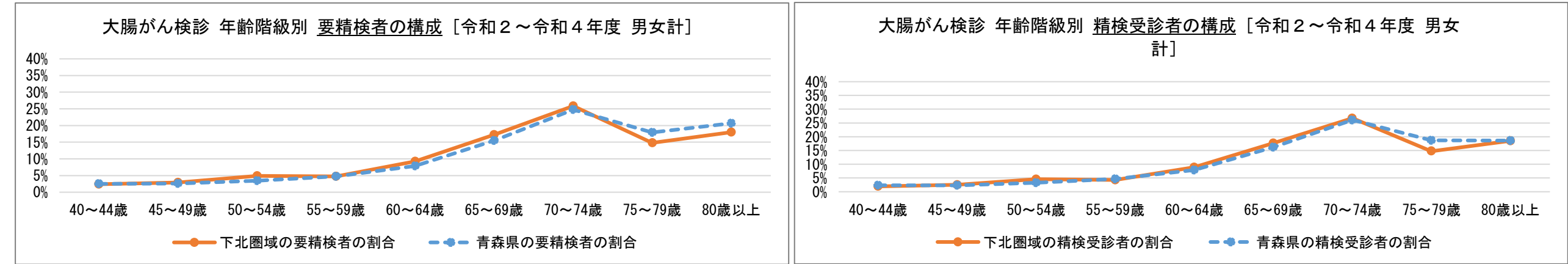
別紙 6_参考 2

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項

〔令和 8 年 1 月20日付け青が生第 2 0 0 7 号通知〕

指標の意義・一般的な対策	
精検受診率 未受診率 未把握率	- 要精検者の精検受診状況を測る指標です。 - 精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、1 0 0 %に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。 - 精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率1 0 0 %に向けて取り組む必要があります。
要精検率	- 検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 - 要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
陽性反応適中度	- 検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 - 陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
がん発見率	- 検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 - がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。

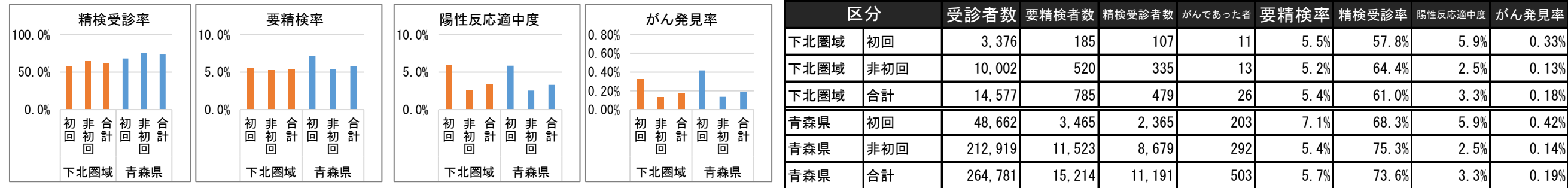
2. 大腸がん検診の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



<大腸がん検診の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率 [令和2～令和4年度 男女計] >

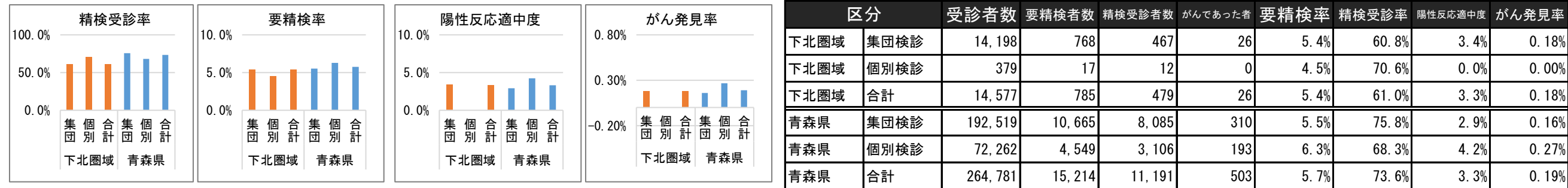
区分		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～74歳
下北圏域	要精検者数	28	34	57	55	108	201	302	173	210	1,168	785
下北圏域	精検受診者数	14	18	33	31	64	127	192	106	133	718	479
下北圏域	精検受診率	50.0%	52.9%	57.9%	56.4%	59.3%	63.2%	63.6%	61.3%	63.3%	61.5%	61.0%
青森県	要精検者数	620	645	859	1,171	1,953	3,831	6,135	4,446	5,118	24,778	15,214
青森県	精検受診者数	422	412	581	825	1,402	2,892	4,657	3,335	3,310	17,836	11,191
青森県	精検受診率	68.1%	63.9%	67.6%	70.5%	71.8%	75.5%	75.9%	75.0%	64.7%	72.0%	73.6%

<大腸がん検診の受診歴別のプロセス指標 [令和2～令和4年度 40歳～74歳 男女計] >



区分		受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
下北圏域	初回	3,376	185	107	11	5.5%	57.8%	5.9%	0.33%
下北圏域	非初回	10,002	520	335	13	5.2%	64.4%	2.5%	0.13%
下北圏域	合計	14,577	785	479	26	5.4%	61.0%	3.3%	0.18%
青森県	初回	48,662	3,465	2,365	203	7.1%	68.3%	5.9%	0.42%
青森県	非初回	212,919	11,523	8,679	292	5.4%	75.3%	2.5%	0.14%
青森県	合計	264,781	15,214	11,191	503	5.7%	73.6%	3.3%	0.19%

<大腸がん検診の検診方式別のプロセス指標 [令和2～令和4年度 40歳～74歳 男女計] >



区分		受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
下北圏域	集団検診	14,198	768	467	26	5.4%	60.8%	3.4%	0.18%
下北圏域	個別検診	379	17	12	0	4.5%	70.6%	0.0%	0.00%
下北圏域	合計	14,577	785	479	26	5.4%	61.0%	3.3%	0.18%
青森県	集団検診	192,519	10,665	8,085	310	5.5%	75.8%	2.9%	0.16%
青森県	個別検診	72,262	4,549	3,106	193	6.3%	68.3%	4.2%	0.27%
青森県	合計	264,781	15,214	11,191	503	5.7%	73.6%	3.3%	0.19%

個別事項「プロセス指標」

別紙7_参考1

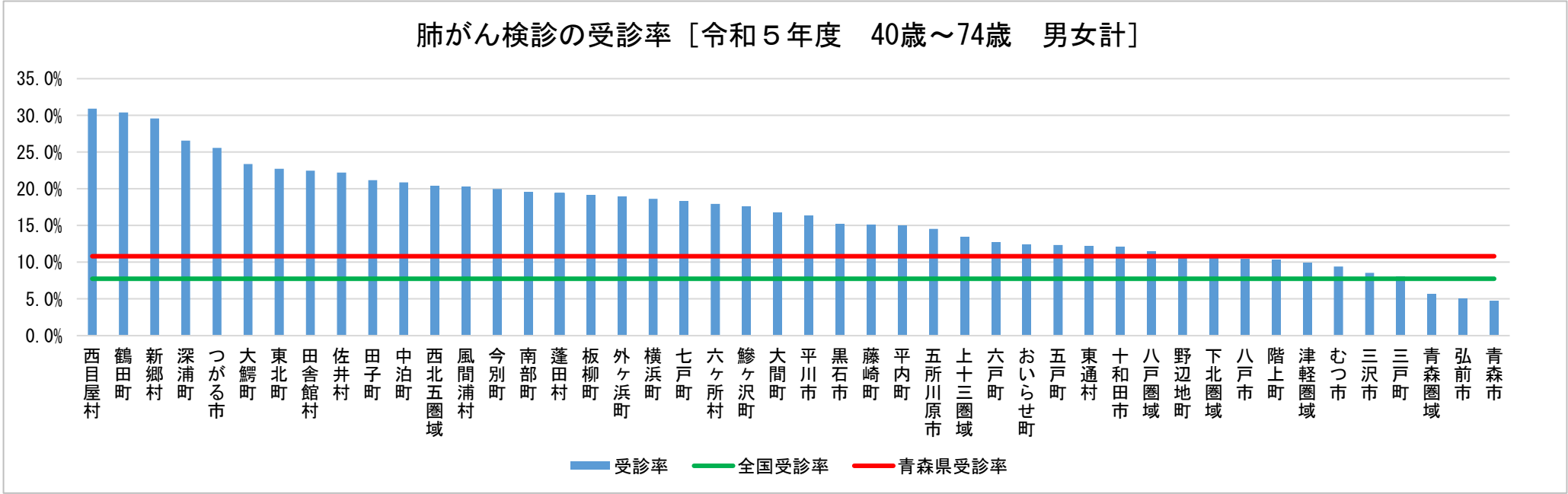
がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項

[令和8年1月20日付け青が生第2007号通知]

令和5年度 肺がん検診プロセス指標－受診率－

自治体名	下北圏域
------	------

1. 肺がん検診の受診率



指標の意義・一般的な対策

・受診率は、高い方が望ましい指標です。精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。

・性別・年齢階級別／検診機関別／検診歴別（初回・非初回別）の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。

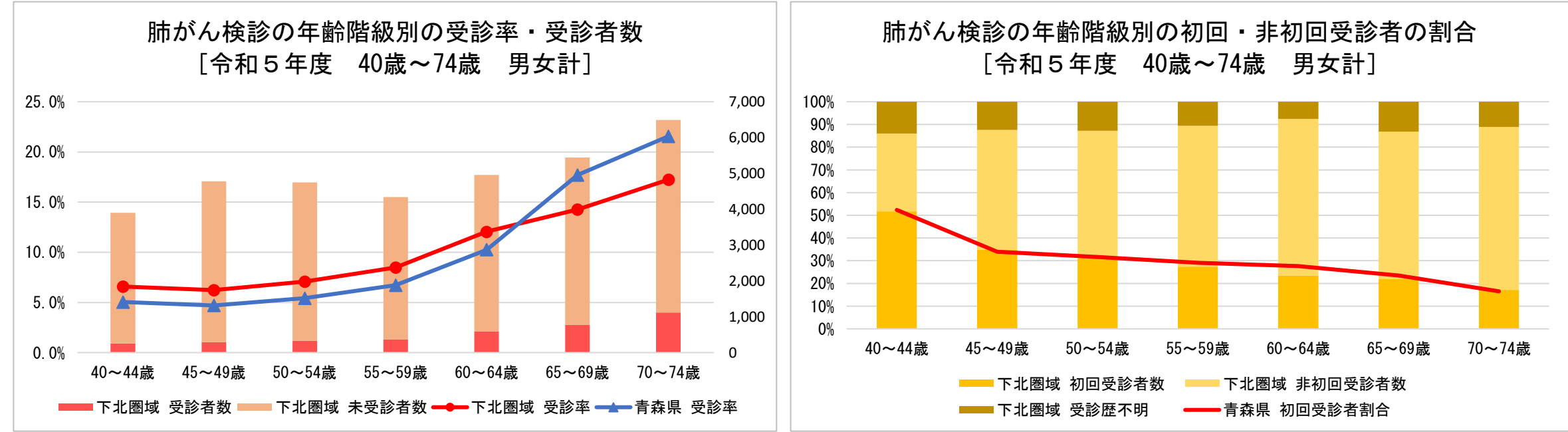
・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制（キャンペーン、利便性等）の改善について検討が必要です。

＜肺がん検診の受診率 [令和5年度 40歳～74歳 男女計] ＞

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	7.7%	10.8%	5.7%	9.9%	11.4%	20.4%	13.4%	10.8%	4.8%	5.0%	10.4%	15.2%	14.5%	12.1%	8.6%	9.4%	25.6%	16.4%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	40位	39位	34位	24位	27位	32位	37位	36位	5位	23位
受診者数	4,539,282	65,835	8,334	13,175	17,348	12,347	10,879	3,752	6,517	3,992	11,223	2,416	3,760	3,575	1,519	2,575	3,889	2,462
対象者数	58,579,235	608,609	147,409	132,851	152,022	60,610	81,054	34,663	136,766	79,917	107,926	15,898	25,848	29,582	17,745	27,311	15,213	15,054
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鯹ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	15.0%	20.0%	19.4%	18.9%	17.5%	26.6%	30.9%	15.1%	23.4%	22.5%	19.1%	30.4%	20.9%	11.0%	18.3%	12.7%	18.6%	22.7%
順位	26位	13位	15位	17位	21位	4位	1位	25位	6位	8位	16位	2位	11位	33位	19位	28位	18位	7位
受診者数	812	222	254	529	827	979	179	1,043	1,038	819	1,226	1,807	1,085	675	1,372	668	372	1,845
対象者数	5,428	1,112	1,311	2,792	4,716	3,687	579	6,912	4,440	3,647	6,404	5,948	5,198	6,131	7,485	5,247	1,997	8,113
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	[受診率の計算方法について] 受診者数÷対象者数＝受診率 ※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算しているため他の統計の受診率と異なる。					
受診率	17.9%	12.4%	16.8%	12.2%	20.3%	22.2%	8.0%	12.3%	21.2%	19.6%	10.3%	29.6%						
順位	20位	29位	22位	31位	12位	9位	38位	30位	10位	14位	35位	3位						
受診者数	853	1,538	426	368	179	204	368	1,003	538	1,662	704	312						
対象者数	4,754	12,431	2,543	3,009	881	919	4,591	8,132	2,541	8,492	6,855	1,054						

（出典：R5年度地域保健・健康増進事業報告） ※対象者数（分母）は対象年齢の全住民で、受診者数（分子）は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

2. 肺がん検診の受診者の状況



＜肺がん検診の年齢階級別の受診者数・受診率 [令和5年度 男女計]＞

区分		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～69歳	40～74歳
下北圏域	対象者数	3,904	4,783	4,745	4,344	4,955	5,439	6,493	12,123		46,786	28,170	34,663
下北圏域	受診者数	257	298	336	369	597	776	1,119	819	580	5,151	2,633	3,752
下北圏域	初回受診者数	133	104	105	101	140	171	192	137	104	1,187	754	946
下北圏域	非初回受診者数	88	157	188	229	412	503	803	625	438	3,443	1,577	2,380
下北圏域	受診歴不明	36	37	43	39	45	102	124	57	38	521	302	426
下北圏域	受診率	6.6%	6.2%	7.1%	8.5%	12.0%	14.3%	17.2%	11.5%		11.0%	9.3%	10.8%
青森県	対象者数	70,568	82,669	86,852	82,683	87,808	92,936	105,093	227,015		835,624	503,516	608,609
青森県	受診者数	3,565	3,884	4,711	5,562	9,006	16,456	22,651	16,551	12,837	95,223	43,184	65,835
青森県	初回受診者数	1,867	1,317	1,491	1,620	2,490	3,864	3,743	2,810	2,283	21,485	12,649	16,392
青森県	非初回受診者数	1,662	2,529	3,174	3,898	6,464	12,471	18,763	13,661	10,480	73,102	30,198	48,961
青森県	受診歴不明	36	38	46	44	52	121	145	80	74	636	337	482
青森県	受診率	5.1%	4.7%	5.4%	6.7%	10.3%	17.7%	21.6%	12.9%		11.4%	8.6%	10.8%

※受診者数はR5年度の受診者数である。

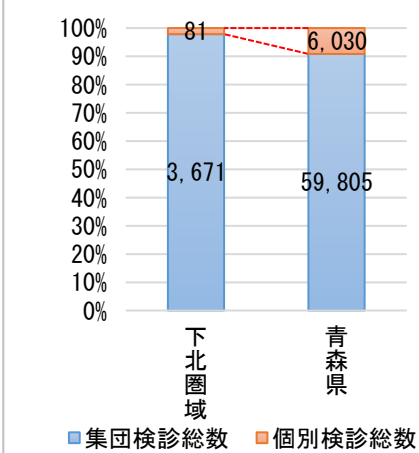
※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

※初回受診者＝前年に受診歴がない者

※非初回受診者＝前年に受診歴がある者

各検診の割合 [40歳～74歳]

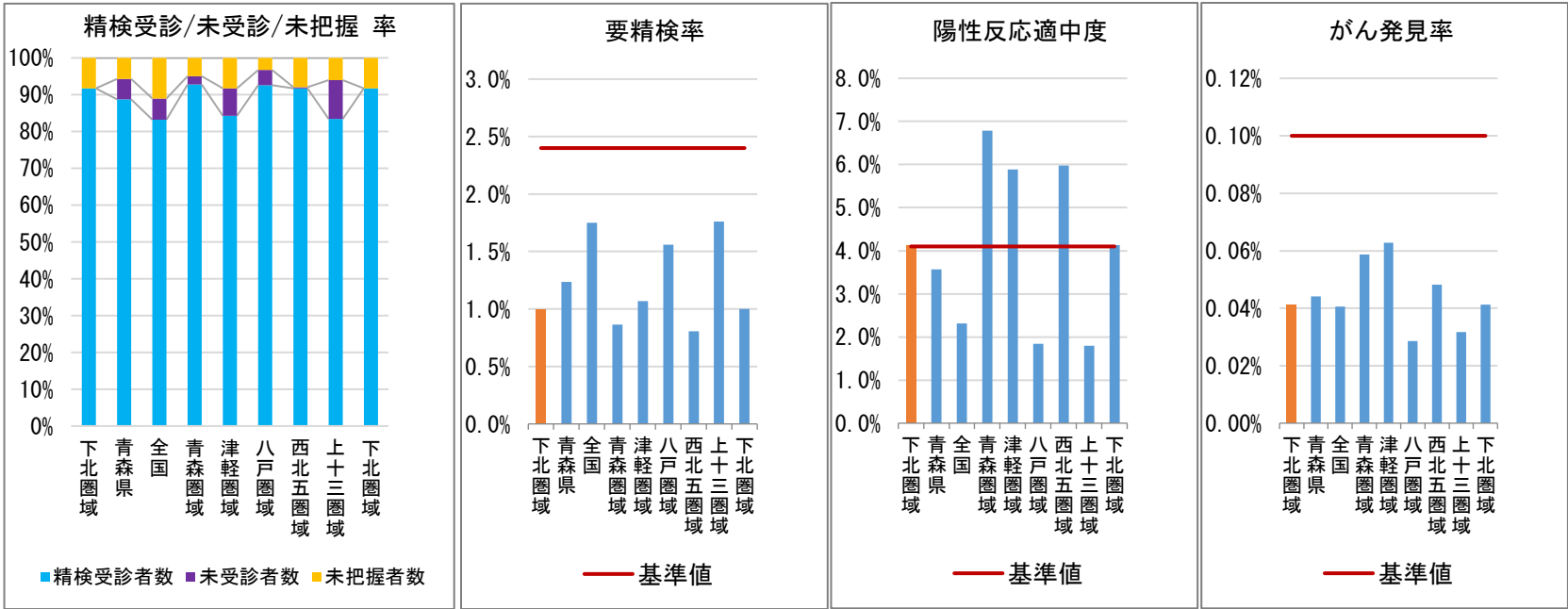


個別事項「プロセス指標」（別紙 7 とは対象年度が異なる点に留意）

令和 2 ～令和 4 年度 肺がん検診プロセス指標－受診率を除く－

自治体名	下北圏域
------	------

1. 肺がん検診のプロセス指標（受診率を除く）



※基準値以下で極端な高低がないこと ※基準値以上で極端な高低がないこと ※基準値以上で極端な高低がないこと

＜肺がん検診のプロセス指標 [令和 2 ～令和 4 年度 40歳～74歳 男女計] ＞

区分	下北圏域	青森県	全国	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	基準値
受診者数	12, 113	201, 872	13, 862, 266	25, 534	39, 826	52, 377	37, 290	34, 732	12, 113	—
要精検者数	121	2, 495	242, 718	221	425	816	301	611	121	—
未把握者数	10	144	26, 791	11	35	27	24	37	10	—
未受診者数	0	136	13, 949	5	32	34	1	64	0	—
精検受診者数	111	2, 215	201, 978	205	358	755	276	510	111	—
がんであった者	5	89	5, 619	15	25	15	18	11	5	—
要精検率	1. 0%	1. 2%	1. 8%	0. 9%	1. 1%	1. 6%	0. 8%	1. 8%	1. 0%	2. 4% 以下
精検受診率	91. 7%	88. 8%	83. 2%	92. 8%	84. 2%	92. 5%	91. 7%	83. 5%	91. 7%	90% 以上
未受診率＋未把握率	0. 0%	5. 5%	5. 7%	2. 3%	7. 5%	4. 2%	0. 3%	10. 5%	0. 0%	10% 以下
陽性反応適中度	4. 1%	3. 6%	2. 3%	6. 8%	5. 9%	1. 8%	6. 0%	1. 8%	4. 1%	4. 1% 以上
がん発見率	0. 04%	0. 04%	0. 04%	0. 06%	0. 06%	0. 03%	0. 05%	0. 03%	0. 04%	0. 10% 以上

[計算方法] ●要精検率＝精検受診者数÷受診者数、●精検受診率＝精検受診者数÷要精検者数、●未受診率＝未受診者数÷要精検者数、●未把握率＝未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度＝がんであった者÷要精検者数、●がん発見率＝がんであった者÷受診者数

(出典：R 3 ～ R 5 年度地域保健・健康増進事業報告)

別紙 7_参考 2

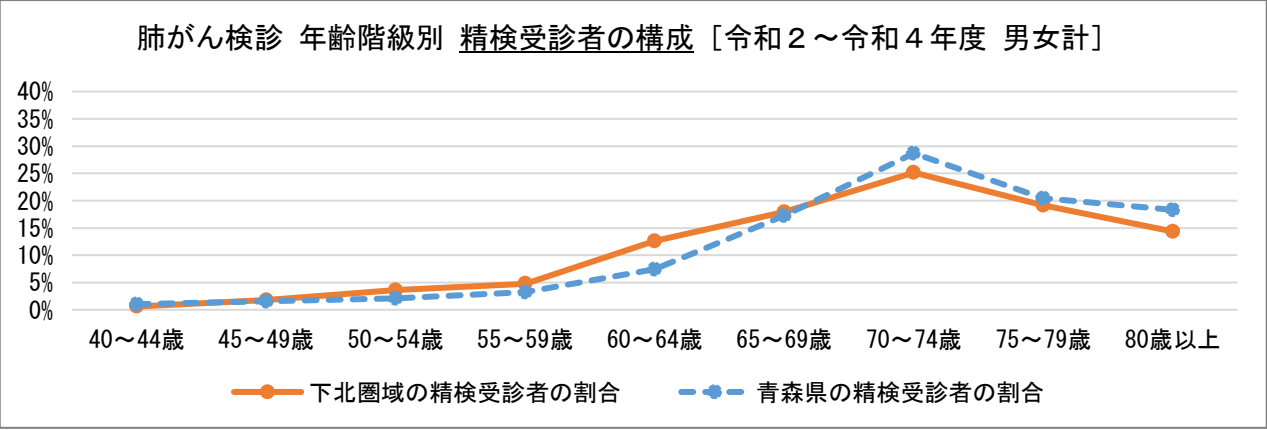
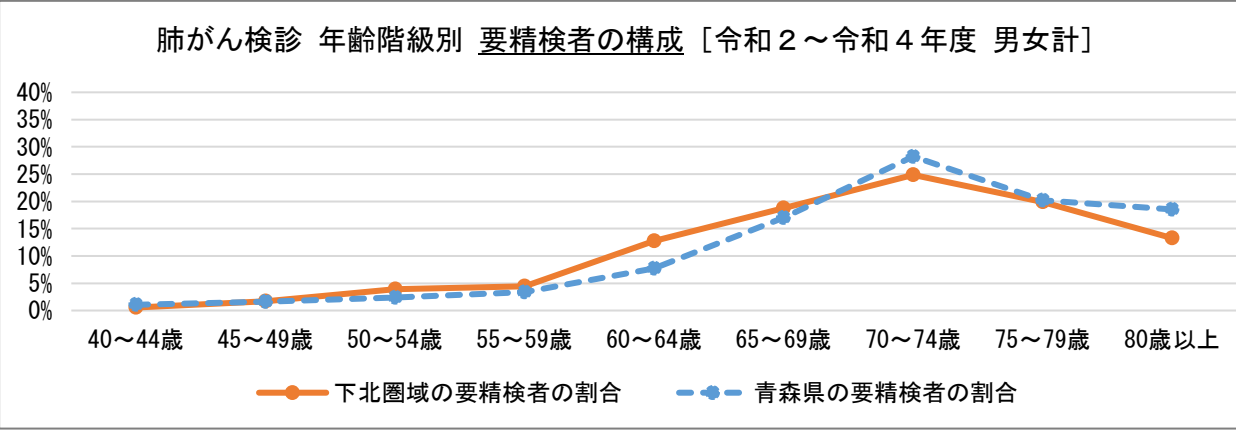
がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項

[令和 8 年 1 月20日付け青が生第 2 0 0 7 号通知]

指標の意義・一般的な対策	
精検受診率 未受診率 未把握率	- 要精検者の精検受診状況を測る指標です。 - 精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、1 0 0 %に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。 - 精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率1 0 0 %に向けて取り組む必要があります。
要精検率	- 検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 - 要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
陽性反応適中度	- 検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 - 陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
がん発見率	- 検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 - がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。

自治体名	下北圏域
------	------

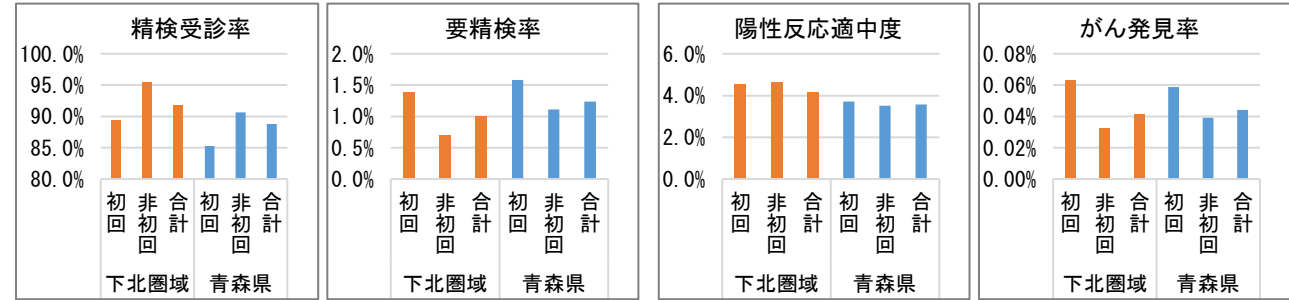
2. 肺がん検診の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



<肺がん検診の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率 [令和2～令和4年度 男女計] >

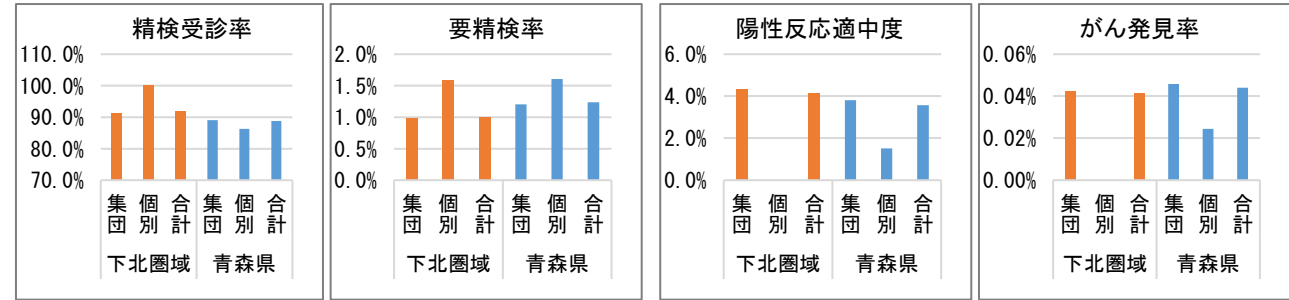
区分		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～74歳
下北圏域	要精検者数	1	3	7	8	23	34	45	36	24	181	121
下北圏域	精検受診者数	1	3	6	8	21	30	42	32	24	167	111
下北圏域	精検受診率	100.0%	100.0%	85.7%	100.0%	91.3%	88.2%	93.3%	88.9%	100.0%	92.3%	91.7%
青森県	要精検者数	43	66	97	136	313	691	1,149	822	753	4,070	2,495
青森県	精検受診者数	37	57	75	117	269	623	1,037	739	661	3,615	2,215
青森県	精検受診率	86.0%	86.4%	77.3%	86.0%	85.9%	90.2%	90.3%	89.9%	87.8%	88.8%	88.8%

<肺がん検診の受診歴別のプロセス指標 [令和2～令和4年度 40歳～74歳 男女計] >



区分		受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
下北圏域	初回	4,752	66	59	3	1.4%	89.4%	4.5%	0.06%
下北圏域	非初回	6,154	43	41	2	0.7%	95.3%	4.7%	0.03%
下北圏域	合計	12,113	121	111	5	1.0%	91.7%	4.1%	0.04%
青森県	初回	52,791	836	713	31	1.6%	85.3%	3.7%	0.06%
青森県	非初回	145,959	1,622	1,470	57	1.1%	90.6%	3.5%	0.04%
青森県	合計	201,872	2,495	2,215	89	1.2%	88.8%	3.6%	0.04%

<肺がん検診の検診方式別のプロセス指標 [令和2～令和4年度 40歳～74歳 男女計] >



区分		受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
下北圏域	集団検診	11,797	116	106	5	1.0%	91.4%	4.3%	0.04%
下北圏域	個別検診	316	5	5	0	1.6%	100.0%	0.0%	0.00%
下北圏域	合計	12,113	121	111	5	1.0%	91.7%	4.1%	0.04%
青森県	集団検診	185,498	2,232	1,988	85	1.2%	89.1%	3.8%	0.05%
青森県	個別検診	16,374	263	227	4	1.6%	86.3%	1.5%	0.02%
青森県	合計	201,872	2,495	2,215	89	1.2%	88.8%	3.6%	0.04%

(出典：R3～R5年度地域保健・健康増進事業報告)

個別事項「プロセス指標」

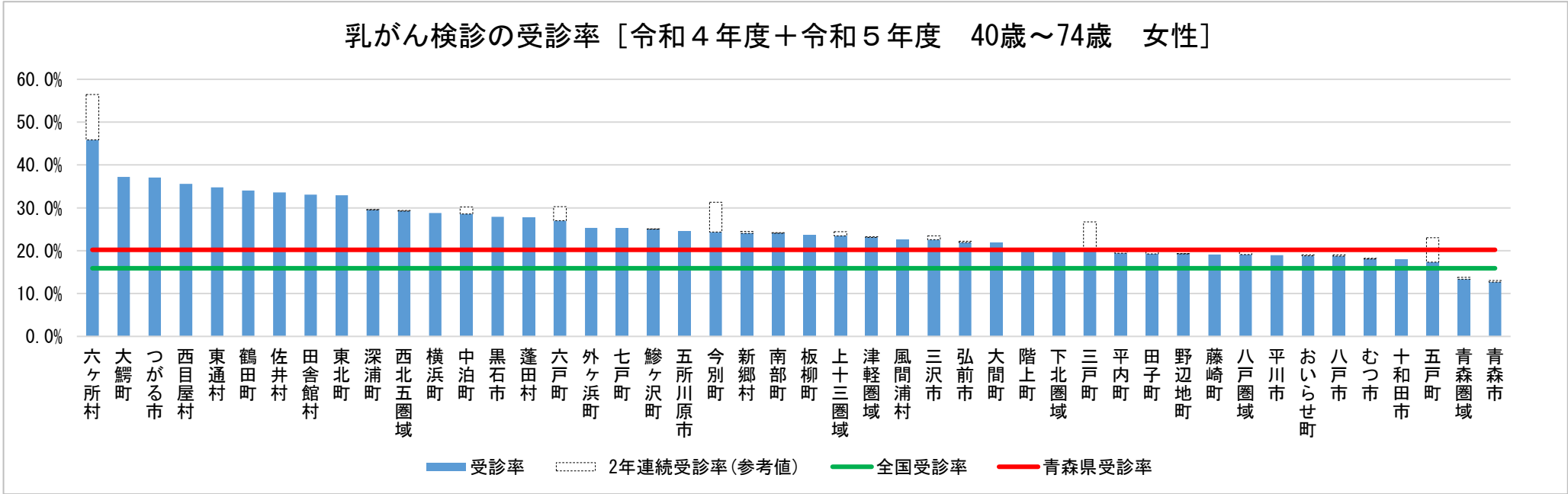
別紙8_参考1

令和5年度 乳がん検診プロセス指標－受診率－

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項
[令和8年1月20日付け青が生第2007号通知]

自治体名	下北圏域
------	------

1. 乳がん検診の受診率



指標の意義・一般的な対策

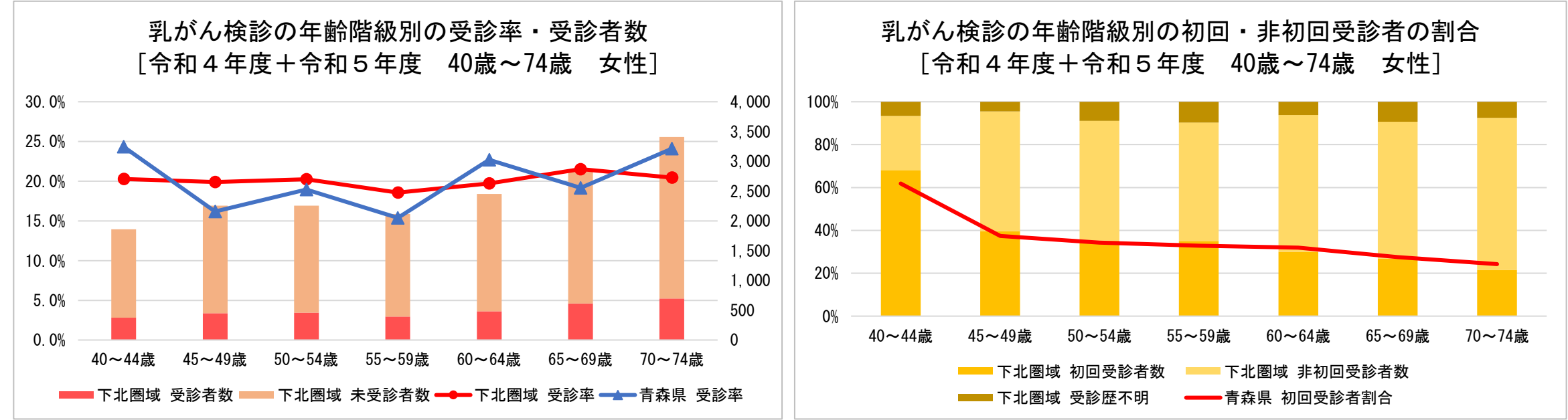
- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。受診間隔（2年に1回）を遵守し、精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別／検診機関別／検診歴別（初回・非初回別）の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制（キャパシティ、利便性等）の改善について検討が必要です。

＜乳がん検診の受診率 [令和4年度＋令和5年度 40歳～74歳 女性] ＞

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	15.9%	20.2%	13.4%	23.1%	19.1%	29.2%	23.5%	20.2%	12.7%	21.9%	18.7%	27.9%	24.5%	18.0%	22.6%	18.1%	37.1%	18.9%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	40位	26位	36位	13位	19位	38位	25位	37位	3位	34位
受診者数	4,678,002	62,905	10,214	16,076	14,770	9,083	9,291	3,471	9,032	9,267	10,393	2,312	3,321	2,703	1,999	2,500	2,862	1,462
対象者数	29,412,087	311,295	76,500	69,680	77,221	31,073	39,619	17,202	71,244	42,316	55,440	8,291	13,549	14,977	8,839	13,804	7,712	7,721
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鰺ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	19.4%	24.3%	27.7%	25.3%	25.0%	29.5%	35.6%	19.1%	37.3%	33.1%	23.6%	34.0%	28.6%	19.3%	25.3%	27.0%	28.8%	33.0%
順位	30位	20位	14位	16位	18位	10位	4位	33位	2位	8位	23位	6位	12位	32位	17位	15位	11位	9位
受診者数	526	129	184	343	595	532	99	700	846	607	783	1,020	753	598	931	686	273	1,112
対象者数	2,707	530	664	1,355	2,379	1,803	278	3,657	2,271	1,833	3,313	2,997	2,633	3,106	3,682	2,540	947	3,373
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	[受診率の計算方法について] (R5年度の受診者数－R5年度の2年連続受診者数 ＋R4年度の受診者数)÷R5年度の対象者数＝受診率 ※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算 しているため他の統計の受診率と異なる。					
受診率	45.9%	18.8%	21.9%	34.8%	22.7%	33.6%	20.2%	17.3%	19.3%	24.1%	20.5%	24.1%						
順位	1位	35位	27位	5位	24位	7位	29位	39位	31位	22位	28位	21位						
受診者数	989	1,181	263	478	94	136	451	699	238	1,014	676	118						
対象者数	2,155	6,274	1,203	1,375	415	405	2,236	4,040	1,235	4,213	3,293	490						

（出典：R5年度地域保健・健康増進事業報告） ※対象者数（分母）は対象年齢の全住民で、受診者数（分子）は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

2. 乳がん検診の受診者の状況



<乳がん検診の年齢階級別の受診者数・受診率 [令和4年度＋令和5年度 女性]>

区分		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～69歳	40～74歳
下北圏域	対象者数	1,858	2,255	2,257	2,117	2,454	2,853	3,408			17,202	13,794	17,202
下北圏域	受診者数	377	449	457	393	484	614	697	378	172	4,021	2,774	3,471
下北圏域	初回受診者数	257	178	161	138	145	165	150	91	43	1,328	1,044	1,194
下北圏域	非初回受診者数	95	251	255	217	309	392	495	269	117	2,400	1,519	2,014
下北圏域	受診歴不明	25	20	41	38	30	57	52	18	12	293	211	263
下北圏域	受診率	20.3%	19.9%	20.2%	18.6%	19.7%	21.5%	20.5%				20.1%	20.2%
青森県	対象者数	34,699	40,613	43,560	42,243	45,238	48,671	56,271			311,295	255,024	311,295
青森県	受診者数	8,440	6,574	8,252	6,500	10,261	9,322	13,556	5,869	3,781	72,555	49,349	62,905
青森県	初回受診者数	5,220	2,462	2,826	2,139	3,278	2,570	3,288	1,435	1,054	24,272	18,495	21,783
青森県	非初回受診者数	3,165	4,061	5,351	4,305	6,903	6,665	10,195	4,411	2,714	47,770	30,450	40,645
青森県	受診歴不明	55	51	75	56	80	87	73	23	13	513	404	477
青森県	受診率	24.3%	16.2%	18.9%	15.4%	22.7%	19.2%	24.1%				19.4%	20.2%

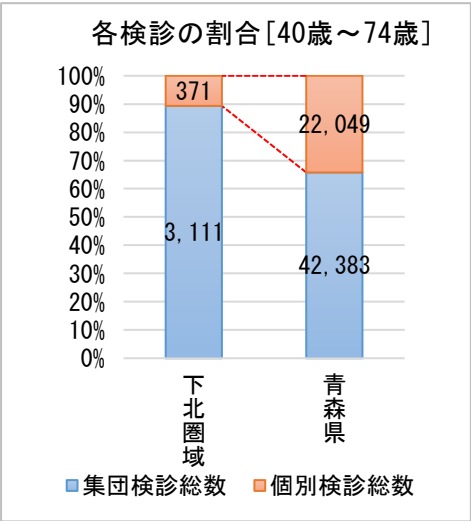
※受診者数はR4年度とR5年度の受診者数の合計からR5年度の2年連続受診者数を除いた人数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

※初回受診者＝過去3年間に受診歴がない者

※非初回受診者＝過去3年間に受診歴がある者



個別事項「プロセス指標」（別紙 8 とは対象年度が異なる点に留意）

別紙 8_参考 2

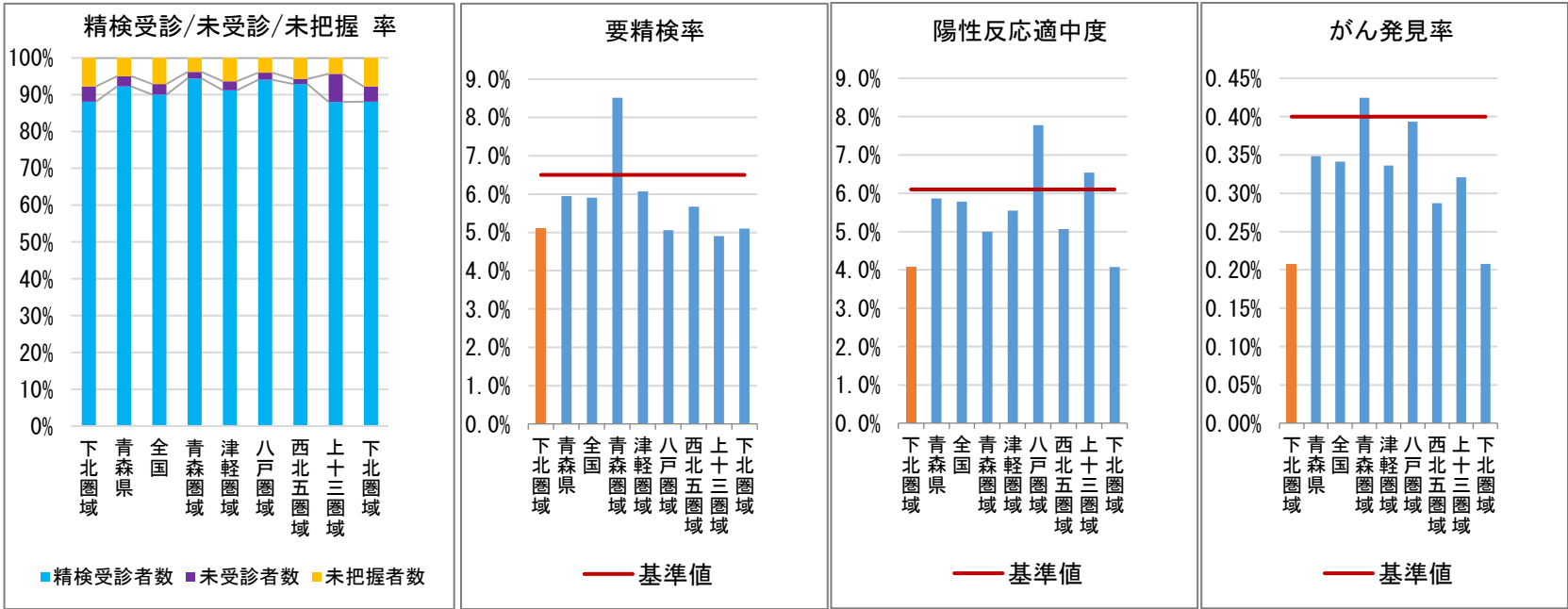
がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項

[令和 8 年 1 月 20 日付け青が生第 2 0 0 7 号通知]

令和 2 ～令和 4 年度 乳がん検診プロセス指標－受診率を除く－

自治体名	下北圏域
------	------

1. 乳がん検診のプロセス指標（受診率を除く）



※基準値以下で極端な高低がないこと ※基準値以上で極端な高低がないこと ※基準値以上で極端な高低がないこと

＜乳がん検診のプロセス指標 [令和 2 ～令和 4 年度 40 歳～74 歳 女性] ＞

区分	下北圏域	青森県	全国	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	基準値
受診者数	5, 296	97, 057	7, 525, 220	16, 007	24, 075	23, 126	13, 583	14, 970	5, 296	—
要精検者数	270	5, 767	444, 236	1, 362	1, 461	1, 170	770	734	270	—
未把握者数	21	289	31, 753	52	93	47	44	32	21	—
未受診者数	11	159	12, 533	24	35	22	11	56	11	—
精検受診者数	238	5, 319	399, 950	1, 286	1, 333	1, 101	715	646	238	—
がんであった者	11	338	25, 704	68	81	91	39	48	11	—
要精検率	5. 1%	5. 9%	5. 9%	8. 5%	6. 1%	5. 1%	5. 7%	4. 9%	5. 1%	6. 5% 以下
精検受診率	88. 1%	92. 2%	90. 0%	94. 4%	91. 2%	94. 1%	92. 9%	88. 0%	88. 1%	90% 以上
未受診率＋未把握率	11. 9%	7. 8%	10. 0%	5. 6%	8. 8%	5. 9%	7. 1%	12. 0%	11. 9%	10% 以下
陽性反応適中度	4. 1%	5. 9%	5. 8%	5. 0%	5. 5%	7. 8%	5. 1%	6. 5%	4. 1%	6. 1% 以上
がん発見率	0. 21%	0. 35%	0. 34%	0. 42%	0. 34%	0. 39%	0. 29%	0. 32%	0. 21%	0. 40% 以上

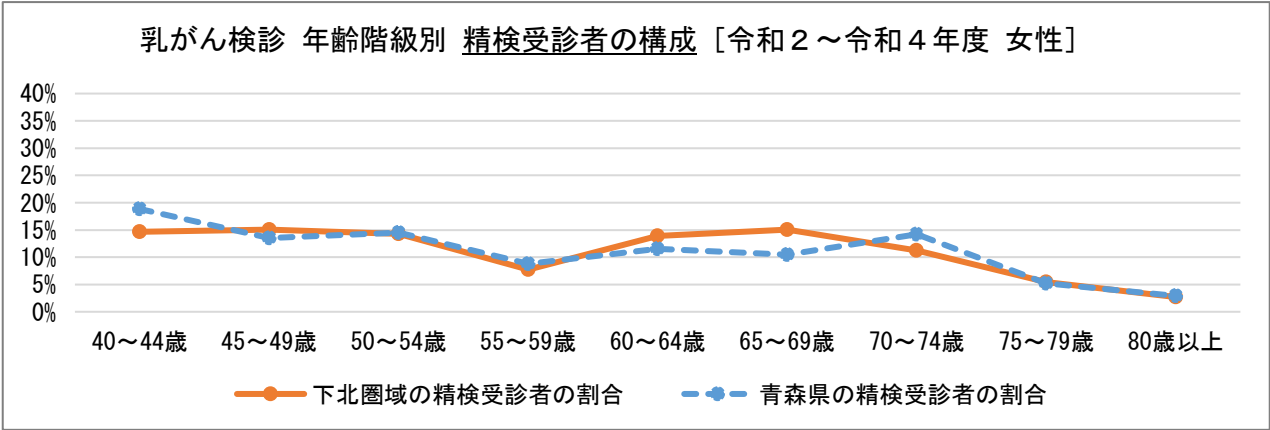
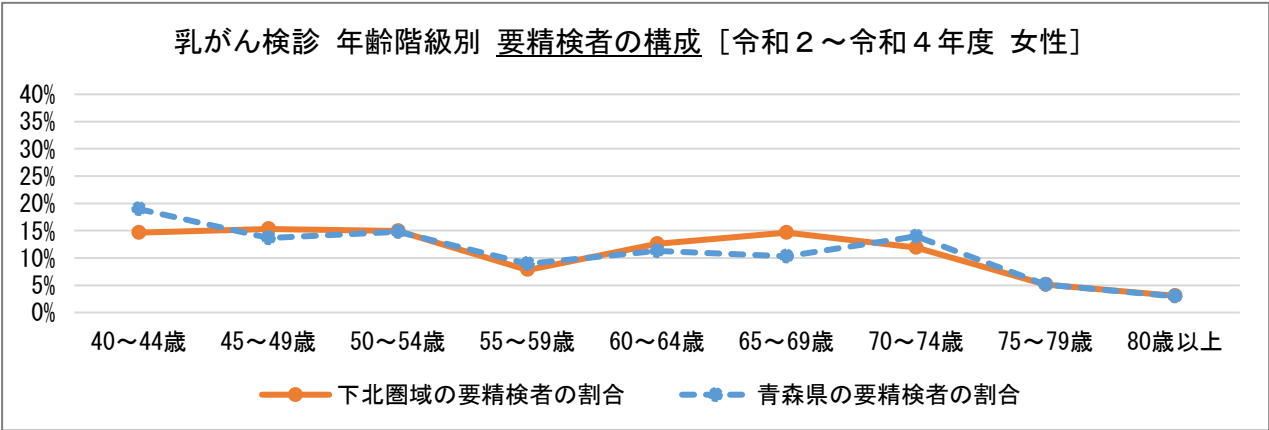
指標の意義・一般的な対策	
精検受診率 未受診率 未把握率	・ 要精検者の精検受診状況を測る指標です。 ・ 精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、1 0 0 %に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。 ・ 精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率1 0 0 %に向けて取り組む必要があります。
要精検率	・ 検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 ・ 要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
陽性反応適中度	・ 検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 ・ 陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
がん発見率	・ 検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 ・ がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。

[計算方法] ●要精検率＝精検受診者数÷受診者数、●精検受診率＝精検受診者数÷要精検者数、●未受診率＝未受診者数÷要精検者数、●未把握率＝未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度＝がんであった者÷要精検者数、●がん発見率＝がんであった者÷受診者数

(出典：R 3 ～R 5 年度地域保健・健康増進事業報告)

自治体名	下北圏域
------	------

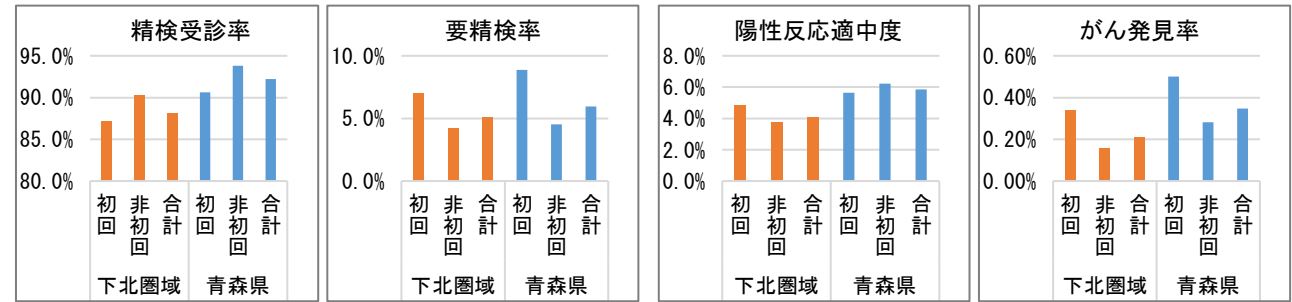
2. 乳がん検診の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



＜乳がん検診の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率 [令和2～令和4年度 女性]＞

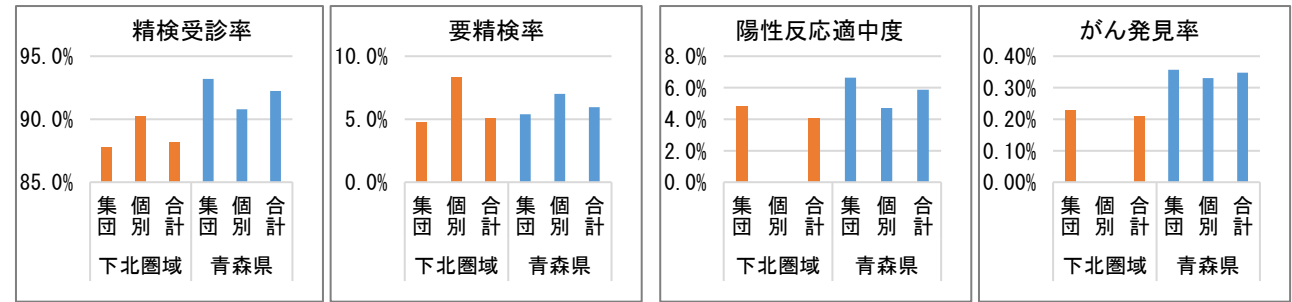
区分		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～74歳
下北圏域	要精検者数	43	45	44	23	37	43	35	15	9	294	270
下北圏域	精検受診者数	38	39	37	20	36	39	29	14	7	259	238
下北圏域	精検受診率	88.4%	86.7%	84.1%	87.0%	97.3%	90.7%	82.9%	93.3%	77.8%	88.1%	88.1%
青森県	要精検者数	1,189	856	928	559	710	647	878	322	186	6,275	5,767
青森県	精検受診者数	1,091	782	839	510	668	608	821	303	169	5,791	5,319
青森県	精検受診率	91.8%	91.4%	90.4%	91.2%	94.1%	94.0%	93.5%	94.1%	90.9%	92.3%	92.2%

＜乳がん検診の受診歴別のプロセス指標 [令和2～令和4年度 40歳～74歳 女性]＞



区分		受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
下北圏域	初回	1,782	124	108	6	7.0%	87.1%	4.8%	0.34%
下北圏域	非初回	3,163	133	120	5	4.2%	90.2%	3.8%	0.16%
下北圏域	合計	5,296	270	238	11	5.1%	88.1%	4.1%	0.21%
青森県	初回	31,217	2,771	2,511	156	8.9%	90.6%	5.6%	0.50%
青森県	非初回	64,576	2,929	2,747	182	4.5%	93.8%	6.2%	0.28%
青森県	合計	97,057	5,767	5,319	338	5.9%	92.2%	5.9%	0.35%

＜乳がん検診の検診方式別のプロセス指標 [令和2～令和4年度 40歳～74歳 女性]＞



区分		受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
下北圏域	集団検診	4,805	229	201	11	4.8%	87.8%	4.8%	0.23%
下北圏域	個別検診	491	41	37	0	8.4%	90.2%	0.0%	0.00%
下北圏域	合計	5,296	270	238	11	5.1%	88.1%	4.1%	0.21%
青森県	集団検診	64,088	3,456	3,221	229	5.4%	93.2%	6.6%	0.36%
青森県	個別検診	32,969	2,311	2,098	109	7.0%	90.8%	4.7%	0.33%
青森県	合計	97,057	5,767	5,319	338	5.9%	92.2%	5.9%	0.35%

(出典：R3～R5年度地域保健・健康増進事業報告)

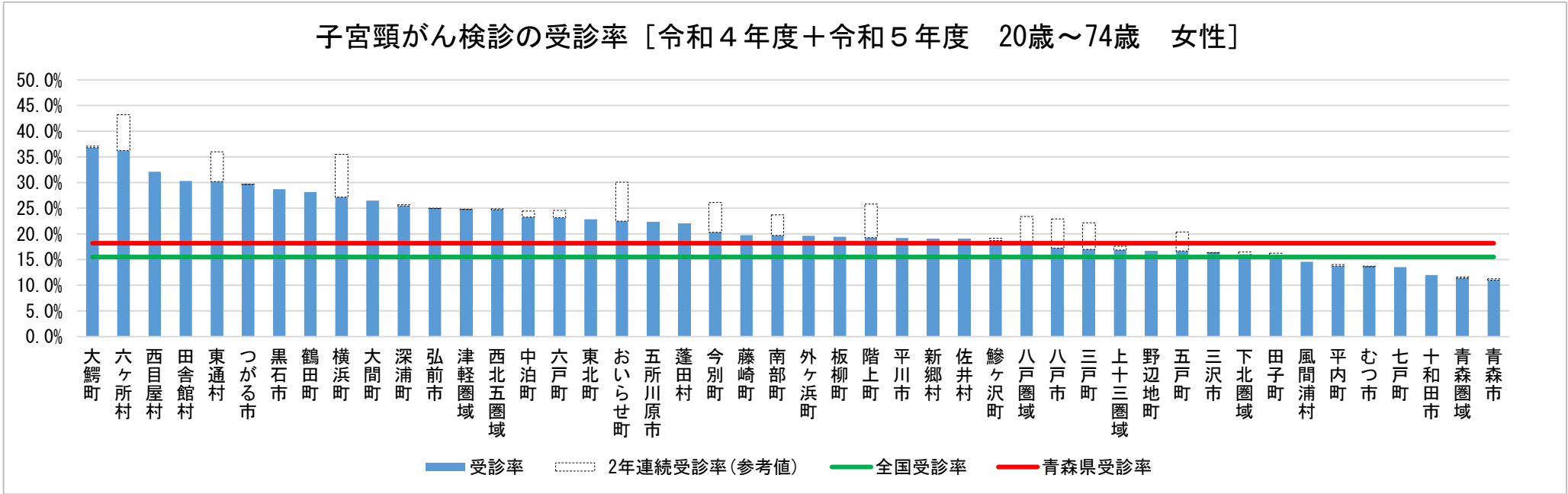
個別事項「プロセス指標」

令和4年度 子宮頸がん検診プロセス指標－受診率－

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項
[令和8年1月20日付け青が生第2007号通知]

自治体名	下北圏域
------	------

1. 子宮頸がん検診の受診率



指標の意義・一般的な対策

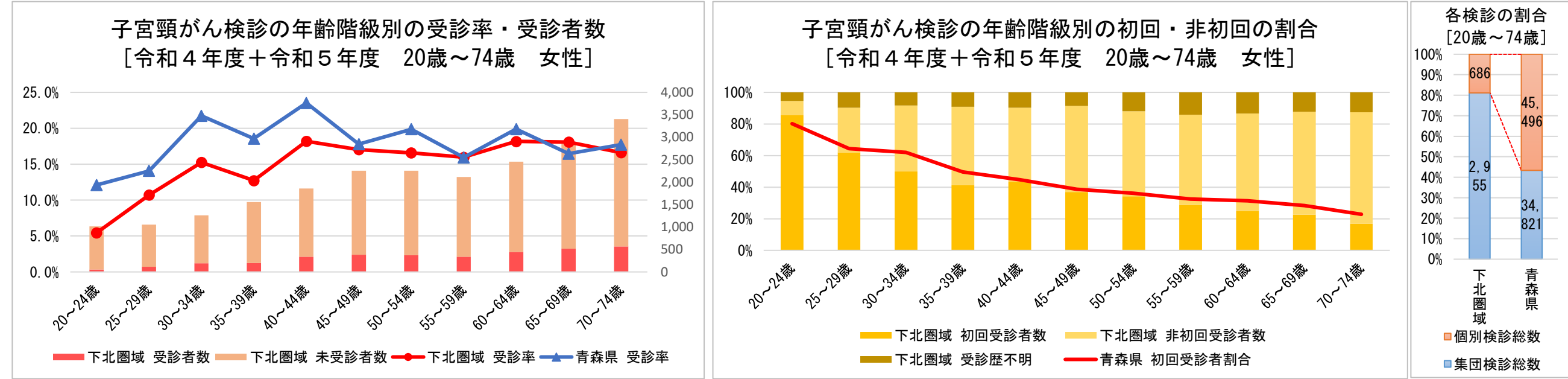
- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。受診間隔（2年に1回）を遵守し、精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別／検診機関別／検診歴別（初回・非初回別）の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制（キャパシティ、利便性等）の改善について検討が必要です。

＜子宮頸がん検診の受診率 [令和4年度+令和5年度 20歳～74歳 女性] ＞

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	15.5%	18.2%	11.4%	24.7%	17.9%	24.7%	16.9%	15.9%	11.0%	24.9%	17.2%	28.7%	22.4%	12.0%	16.3%	13.6%	29.6%	19.2%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	40位	12位	29位	7位	17位	39位	33位	37位	6位	25位
受診者数	6,543,189	73,912	11,400	22,762	18,032	9,657	8,840	3,520	10,342	14,095	12,542	3,084	3,869	2,351	2,034	2,424	2,900	1,949
対象者数	42,196,649	406,596	100,076	92,023	101,006	39,067	52,340	22,084	93,804	56,503	72,787	10,745	17,291	19,570	12,490	17,836	9,794	10,159
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鰺ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	13.7%	20.3%	22.0%	19.6%	18.7%	25.5%	32.1%	19.7%	36.8%	30.3%	19.5%	28.1%	23.3%	16.7%	13.5%	23.1%	27.2%	22.8%
順位	36位	19位	18位	22位	28位	11位	3位	20位	1位	4位	23位	8位	13位	31位	38位	14位	9位	15位
受診者数	453	122	179	304	538	537	115	968	1,010	713	828	1,075	738	606	620	781	314	1,017
対象者数	3,309	601	813	1,549	2,880	2,109	358	4,903	2,747	2,351	4,257	3,820	3,173	3,622	4,592	3,374	1,156	4,451
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	[受診率の計算方法について] （R5年度の受診者数－R5年度の2年連続受診者数 ＋R4年度の受診者数）÷ R5年度の対象者数＝受診率 ※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算 しているため他の統計の受診率と異なる。					
受診率	36.2%	22.5%	26.5%	30.2%	14.6%	19.1%	17.0%	16.7%	15.7%	19.7%	19.3%	19.1%						
順位	2位	16位	10位	5位	35位	27位	30位	32位	34位	21位	24位	26位						
受診者数	1,117	1,943	401	532	73	90	469	842	238	1,060	823	115						
対象者数	3,085	8,641	1,513	1,762	501	472	2,761	5,051	1,517	5,374	4,272	603						

（出典：R5年度地域保健・健康増進事業報告） ※対象者数（分母）は対象年齢の全住民で、受診者数（分子）は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

2. 子宮頸がん検診の受診者の状況



<子宮頸がん検診の年齢階級別の受診者数・受診率〔令和4年度＋令和5年度 女性〕> ※初回受診者＝過去3年間に受診歴がない者、非初回受診者＝過去3年間に受診歴がある者

区分		20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	20～69歳	20～74歳
下北圏域	対象者数	1,012	1,055	1,258	1,557	1,858	2,255	2,257	2,117	2,454	2,853	3,408	7,563		29,647	18,676	22,084
下北圏域	受診者数	55	113	192	198	338	384	374	338	446	516	566	323	129	3,972	2,954	3,520
下北圏域	初回受診者数	47	70	96	82	147	142	128	97	111	117	96	65	26	1,224	1,037	1,133
下北圏域	非初回受診者数	5	32	80	98	158	209	201	193	275	336	399	227	90	2,303	1,587	1,986
下北圏域	受診歴不明	3	11	16	18	33	33	45	48	60	63	71	31	13	445	330	401
下北圏域	受診率	5.4%	10.7%	15.3%	12.7%	18.2%	17.0%	16.6%	16.0%	18.2%	18.1%	16.6%	6.0%		13.4%	15.8%	15.9%
青森県	対象者数	21,162	20,732	23,708	29,711	34,701	40,627	43,571	42,256	45,257	48,642	56,229	143,596		550,192	350,367	406,596
青森県	受診者数	2,561	2,918	5,154	5,511	8,162	7,232	8,658	6,733	9,004	8,015	9,964	4,784	2,915	81,611	63,948	73,912
青森県	初回受診者数	2,053	1,879	3,195	2,736	3,645	2,799	3,131	2,182	2,821	2,274	2,273	1,141	800	30,929	26,715	28,988
青森県	非初回受診者数	491	1,002	1,894	2,719	4,447	4,377	5,450	4,487	6,096	5,671	7,613	3,606	2,102	49,955	36,634	44,247
青森県	受診歴不明	17	37	65	56	70	56	77	64	87	70	78	37	13	727	599	677
青森県	受診率	12.1%	14.1%	21.7%	18.5%	23.5%	17.8%	19.9%	15.9%	19.9%	16.5%	17.7%	5.4%		14.8%	18.3%	18.2%

※受診者数はR4年度とR5年度の受診者数の合計からR5年度の2年連続受診者数を除いた人数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

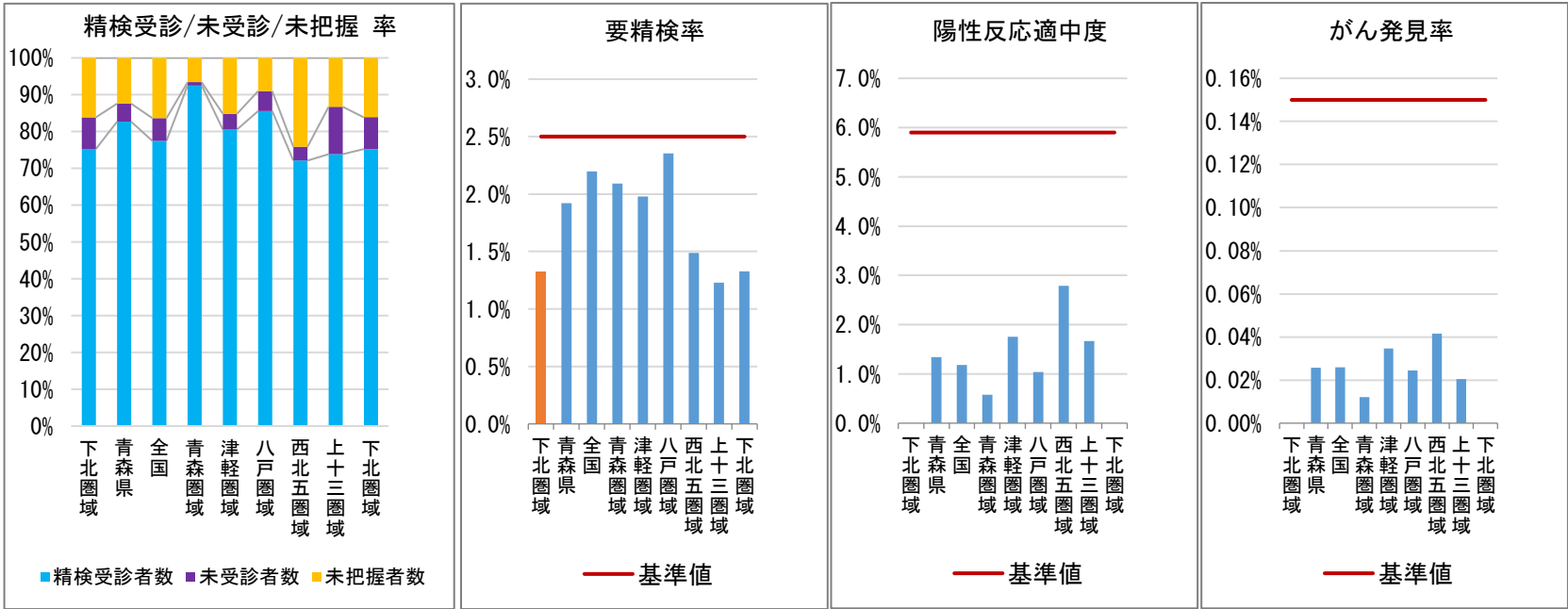
※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

個別事項「プロセス指標」（別紙 9 とは対象年度が異なる点に留意）

令和 2 ～令和 4 年度 子宮頸がん検診プロセス指標－受診率を除く－

自治体名	下北圏域
------	------

1. 子宮頸がん検診のプロセス指標（受診率を除く）



※基準値以下で極端な高低がないこと ※基準値以上で極端な高低がないこと ※基準値以上で極端な高低がないこと

＜子宮頸がん検診のプロセス指標 [令和 2 ～令和 4 年度 20歳～74歳 女性] ＞

区分	下北圏域	青森県	全国	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	基準値※
受診者数	7, 006	124, 002	11, 135, 565	16, 582	34, 597	36, 725	14, 463	14, 629	7, 006	—
要精検者数	93	2, 383	244, 612	347	684	864	215	180	93	—
未把握者数	15	296	40, 136	23	104	78	52	24	15	—
未受診者数	8	118	15, 036	3	29	47	8	23	8	—
精検受診者数	70	1, 969	189, 440	321	551	739	155	133	70	—
がんであった者	0	32	2, 886	2	12	9	6	3	0	—
要精検率	1. 3%	1. 9%	2. 2%	2. 1%	2. 0%	2. 4%	1. 5%	1. 2%	1. 3%	2. 5% 以下
精検受診率	75. 3%	82. 6%	77. 4%	92. 5%	80. 6%	85. 5%	72. 1%	73. 9%	75. 3%	90% 以上
未受診率＋未把握率	24. 7%	17. 4%	22. 6%	7. 5%	19. 4%	14. 5%	27. 9%	26. 1%	24. 7%	10% 以下
陽性反応適中度	0. 0%	1. 3%	1. 2%	0. 6%	1. 8%	1. 0%	2. 8%	1. 7%	0. 0%	5. 9% 以上
がん発見率	0. 00%	0. 03%	0. 03%	0. 01%	0. 03%	0. 02%	0. 04%	0. 02%	0. 00%	0. 15% 以上

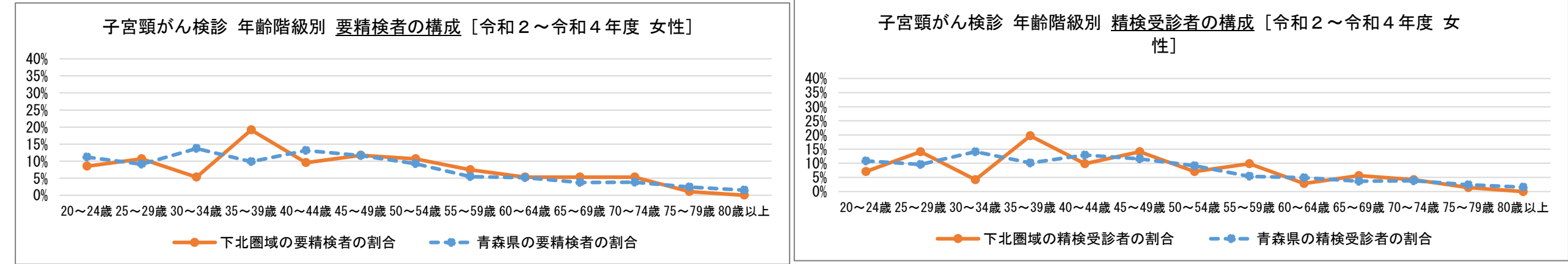
※プロセス指標の数値は20～74歳までの者の値

[計算方法] ●要精検率＝精検受診者数÷受診者数、●精検受診率＝精検受診者数÷要精検者数、●未受診率＝未受診者数÷要精検者数、●未把握率＝未把握者数÷要精検者数、
●陽性反応適中度＝（がん、AIS、CIN3であった者の和）÷要精検者数、●がん発見率＝（がん、AIS、CIN3であった者の和）÷受診者数

（出典：R 3 ～R 5 年度地域保健・健康増進事業報告）

指標の意義・一般的な対策	
精検受診率 未受診率 未把握率	・要精検者の精検受診状況を測る指標です。 ・精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、1 0 0 %に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。 ・精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率1 0 0 %に向けて取り組む必要があります。
要精検率	・検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 ・要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
陽性反応適中度	・検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 ・陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。
がん発見率	・検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。 ・がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。

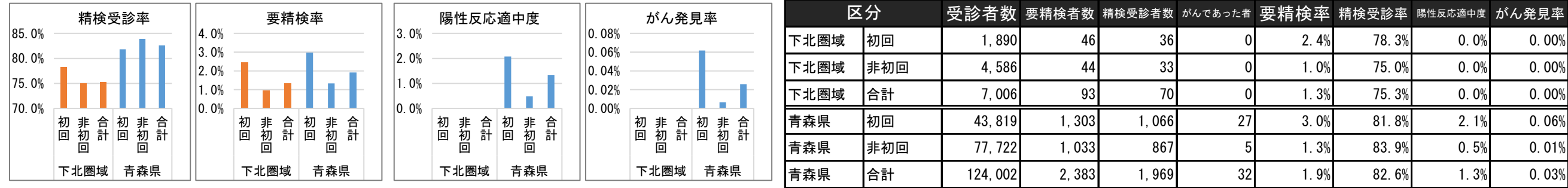
2. 子宮頸がん検診の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



<子宮頸がん検診の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率 [令和2～令和4年度 女性] >

区分		20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	20～74歳
下北圏域	要精検者数	8	10	5	18	9	11	10	7	5	5	5	1	0	94	93
下北圏域	精検受診者数	5	10	3	14	7	10	5	7	2	4	3	1	0	71	70
下北圏域	精検受診率	62. 5%	100. 0%	60. 0%	77. 8%	77. 8%	90. 9%	50. 0%	100. 0%	40. 0%	80. 0%	60. 0%	100. 0%	0. 0%	75. 5%	75. 3%
青森県	要精検者数	278	226	340	245	325	289	230	135	128	92	95	60	37	2, 480	2, 383
青森県	精検受診者数	222	197	289	208	264	237	188	111	100	75	78	49	32	2, 050	1, 969
青森県	精検受診率	79. 9%	87. 2%	85. 0%	84. 9%	81. 2%	82. 0%	81. 7%	82. 2%	78. 1%	81. 5%	82. 1%	81. 7%	86. 5%	82. 7%	82. 6%

<子宮頸がん検診の受診歴別のプロセス指標 [令和2～令和4年度 20歳～74歳 女性] >



<子宮頸がん検診の検診方式別のプロセス指標 [令和2～令和4年度 20歳～74歳 女性] >

